

牛窓町古墳図

牛 窓 町

発刊によせて

牛窓町は、町域27.49㎢の中に百数十基の古墳が確認されている。特に牛窓湾を取り囲むように5基の前方後円墳が存在し、牛窓湾・錦海湾を見下ろす阿弥陀山峰にも約60基の群集墳が分布していることは、古代における牛窓地域の位置づけを考える上で大きな意味をもっている。

しかし、近年下草刈りなどが行われなくなったことから、その存在を確認することが困難になり、また、開墾などによって消滅している。

このような中で、昭和63年に牛窓町史の編纂がスタートし、全町域にわたってさまざまな分野の調査が行われ、記録されることとなった。

古墳についても、平成9年11月発刊の『牛窓町史 資料編Ⅱ 考古・古代・中世・近世』に収録されているが、これらはごく一部である。

このたびの古墳図は、牛窓町史編纂の過程において記録されたものと、私が昭和12年から古墳巡視を続け、記録に留めていたものを牛窓町文化財保護委員会で整理し、まとめたものである。

発刊にあたっては、古墳の位置を地図上に表示するとともに可能な限り実測なども行いこれらを明示した。

この冊子が古墳の現状について再認識する契機となるとともに、今後の保存・整備や研究の基礎資料、郷土学習資料などとして広く活用されれば幸いである。

平成14年3月

牛窓町文化財保護委員会

委員長 松 本 幸 男

例　　言

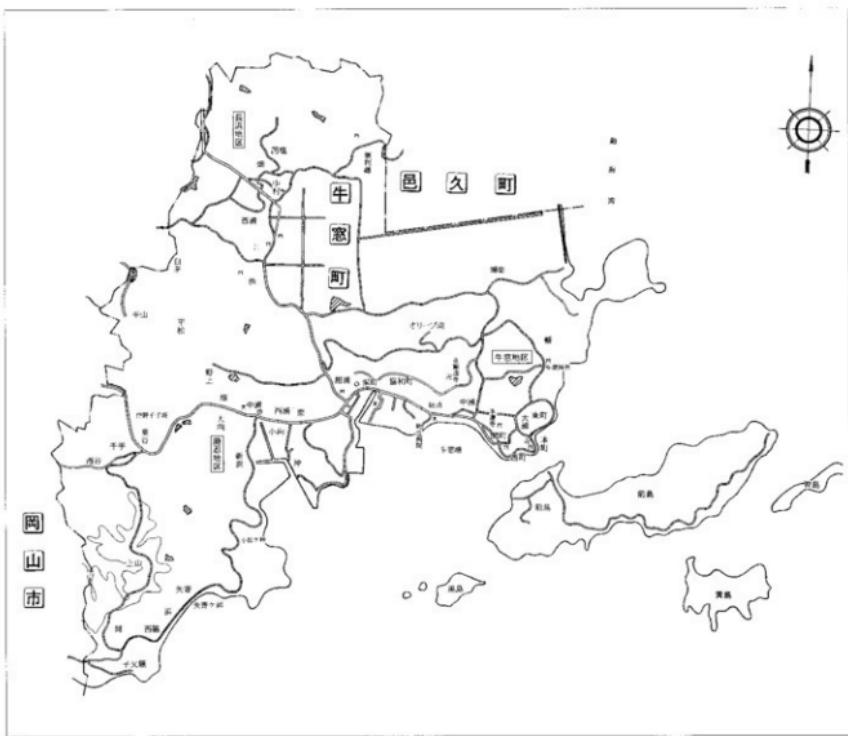
- 1 本書は、牛窓町文化財保護委員会委員長松本幸男氏が長年にわたり牛窓町内の古墳を調査し、記録した「牛窓町古墳図」を基に作成したものである。
- 2 古墳分布図は、一部を除き『牛窓町史資料編Ⅱ』の付図「字図」と対比できるように同様のグリッドを用いた。また、分布図に記した古墳のマークは、現存するものを塗りつぶし、消滅もしくは確認できなかったものを白抜き、詳細な位置が不明なものはおよその範囲を囲み示した。
- 3 古墳の名称は、原則として地元で呼ばれている名称を優先して用い、特に名称を付して呼ばれていない古墳などについては字名を名称に用いた。また、松本氏が分類した符号も併せて記載した。
- 4 古墳（墳丘及び石室等）の図は、特に記載があるもの以外は松本氏が記録したものであり、併せて調査年月日を付した。
- 5 写真は、特に記載があるもの以外は平成13年度中に牛窓町教育委員会で現地に赴き撮影したものである。
- 6 記載されている埋葬規模の高さ及び幅は、奥壁部分の数値であり、奥壁が確認できないものについては最大値を記載した。
- 7 備考欄には、調査時のメモや現状などを記載した。また、本書を編集するのに参考とした出版物も記載した。
- 8 編集は、牛窓町教育委員会教育課学芸員兼社会教育主事若松洋史が担当した。また、編集するにあたっては、牛窓町文化財保護委員はじめ多くの方々から御指導賜った。

目 次

牛窓町全図	1
牛窓地区	
阿弥陀山西部 分布図	3
乙佐塚古墳 (OAU01)	4
上浦古墳 (OAU0)	5
阿弥陀山1号墳 (OAU1)	6
阿弥陀山2号墳 (OAU2)	7
阿弥陀山3号墳 (OAU03)	8
阿弥陀山4号墳 (OAU4)	9
阿弥陀山5号墳 四ツ塚地区 (OAU5)	10
阿弥陀山6号墳 四ツ塚地区 (OAU6)	11
阿弥陀山7号墳 四ツ塚地区 (OAU7)	12
阿弥陀山8号墳 四ツ塚地区 (OAU8)	13
阿弥陀山9号墳 四ツ塚地区 (OAU9)	14
阿弥陀山10号墳 四ツ塚地区 (OAU10)	15
阿弥陀山11号墳 四ツ塚地区 (OAU11)	16
阿弥陀山中央部 分布図	17
阿弥陀山12号墳 (OAU12)	18
阿弥陀山13号墳 (OAU13)	19
阿弥陀山14号墳 十五塚地区 (OAU14)	20
阿弥陀山15号墳 十五塚地区 (OAU15)	21
阿弥陀山16号墳 十五塚地区 (OAU16)	22
阿弥陀山17号墳 十五塚地区 (OAU17)	23
阿弥陀山18号墳 十五塚地区 (OAU18)	24
阿弥陀山19号墳 十五塚地区 (OAU19)	25
阿弥陀山20号墳 十五塚地区 (OAU20)	26
阿弥陀山21号墳 十五塚地区 (OAU21)	27
阿弥陀山22号墳 十五塚地区 (OAU22)	28
阿弥陀山23号墳 十五塚地区 (OAU23)	29
阿弥陀山24号墳 十五塚地区 (OAU24)	30
阿弥陀山25号墳 十五塚地区 (OAU25)	31
阿弥陀山36号墳 十五塚地区	32
阿弥陀山26号墳 十五塚地区 (OAU26)	33
阿弥陀山27号墳 十五塚地区 (OAU27)	34
阿弥陀山28号墳 (OAU28)	35
阿弥陀山29号墳 (OAU29)	36
阿弥陀山30号墳 (OAU30)	37
阿弥陀山31号墳 (OAU31)	38
阿弥陀山32号墳 (OAU32)	39
阿弥陀山33号墳 (OAU33)	40
阿弥陀山34号墳 (OAU34)	41
阿弥陀山35号墳 (OAU35)	42
阿弥陀山37号墳 (OAU37)	43
阿弥陀山38号墳 (OAU38)	44
阿弥陀山39号墳 (OAU39)	45
阿弥陀山40号墳 (OAU40)	46
阿弥陀山41号墳 (OAU41)	47
阿弥陀山42号墳 (OAU42)	48
阿弥陀山43号墳 (OAU43)	49
阿弥陀山44号墳 (OAU44)	50
阿弥陀山45号墳 (OAU45)	51
阿弥陀山46号墳 (OAU46)	52
阿弥陀山47号墳 (OAU47)	53
阿弥陀山48号墳 (OAU48)	54
阿弥陀山49号墳 (OAU49)	55
阿弥陀山50号墳 (OAU50)	56
阿弥陀山51号墳 (OAU51)	57
阿弥陀山52号墳 (OAU52)	58
阿弥陀山53号墳 (OAU53)	59
阿弥陀山54号墳 (OAU54)	60
阿弥陀山55号墳 (OAU55)	61
阿弥陀山56号墳 (OAU56)	62
阿弥陀山57号墳	63
菜塚 (大山塚) (OAU57)	64

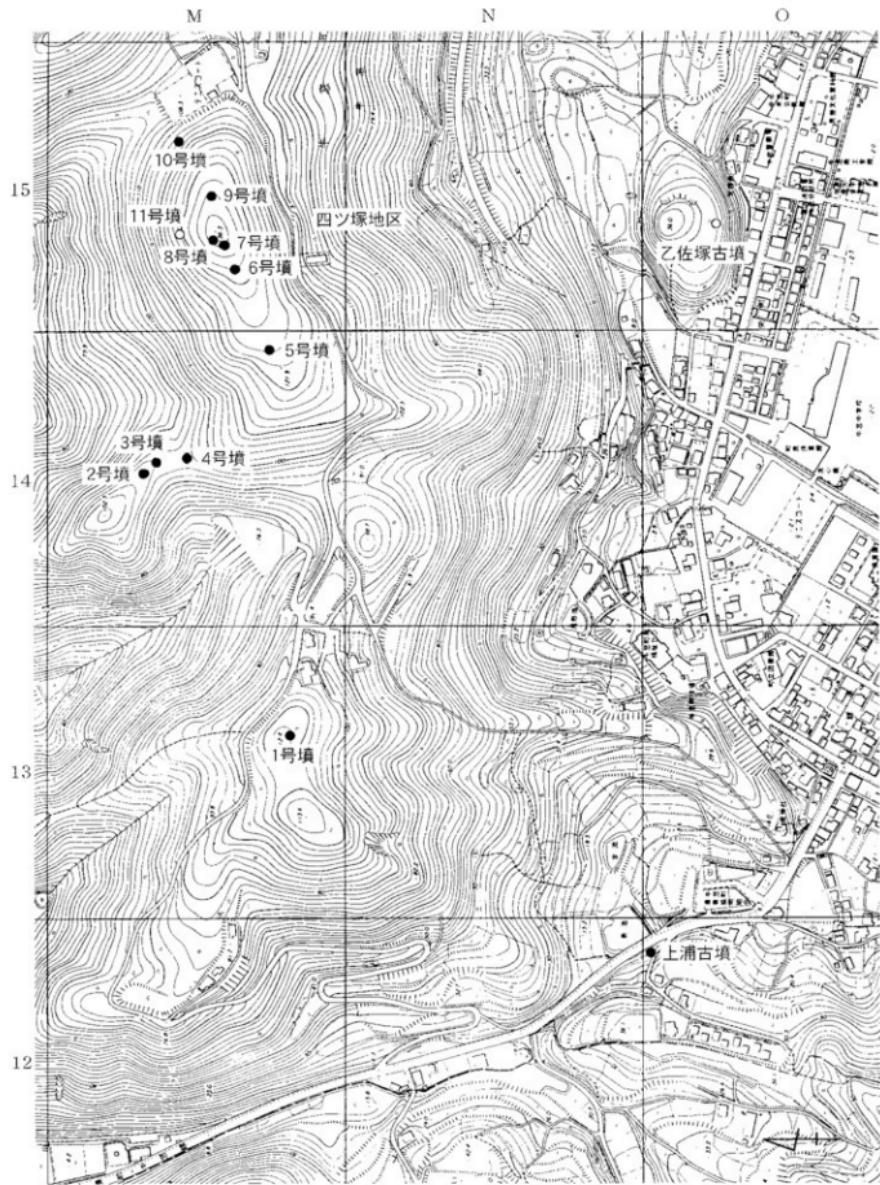
牛窓南部 分布図	65	西脇東部 分布図	97
波歌山古墳 (OAU36)	66	槌ヶ谷1号墳 (OAK 2)	98
牛窓天神山周辺 分布図	67	槌ヶ谷2号墳 (OAK 3)	99
経塚1号墳 (OAU58)	68	深谷1号墳 (OAK 5) (付:4・5号墳)	100
経塚2号墳 (OAU59)	69	深谷2号墳 (OAK 6)	101
牛窓天神山古墳 (OAU60)	70	深谷3号墳 (OAK 7)	102
牛窓神社周辺 分布図	71	深谷6号墳 (OAK 4)	103
亀山1号墳 (OAU61)	72	深谷7号墳 (OAK 8)	104
亀山2号墳 (OAU62)	73	矢寄北古墳 (OAK 9)	105
亀山3号墳 (OAU64)	74	矢寄古墳群	106
燕崎周辺 分布図	75	千手山弘法寺周辺 分布図	107
鹿木古墳 (OAU63)	76	惣ヶ塚古墳群	108
前島東部 分布図	77	大塚古墳	108
前島小山集石遺構	78	勝負谷周辺 分布図	109
前島中央部 分布図	79	勝負谷1号墳・2号墳	109
尾台古墳	80		
立石古墳	81		
清水池古墳	81	長浜地区	
黒島 分布図	82	寒風周辺 分布図	111
黒島1号墳 (OAU65)	83	寒風古墳	112
		中山古墳	112
鹿忍地区		長浜西浦周辺 分布図	113
鹿歩山周辺部 分布図	85	小丸山古墳	114
鹿歩山古墳 (OAK15)	86	稻荷古墳	114
横山1号墳 (OAK14)	87	長浜北部 分布図	115
横山2号墳	88	北の代古墳	116
木山様古墳群	89	上屋敷古墳	116
二塚山周辺部 分布図	90	岡の辻古墳群	116
二塚山古墳 (OAK 1)	91	シクの山古墳群	116
二塚山四ツ塚1号墳 (OAK 10)	92	山越古墳群	116
二塚山四ツ塚2号墳 (OAK 11)	93	田淵古墳群	117
二塚山四ツ塚3号墳 (OAK 12)	94	古市村古墳群	117
二塚山四ツ塚4号墳 (OAK 13)	95	松廻古墳	117
小馬古墳	96		

牛窓町全図



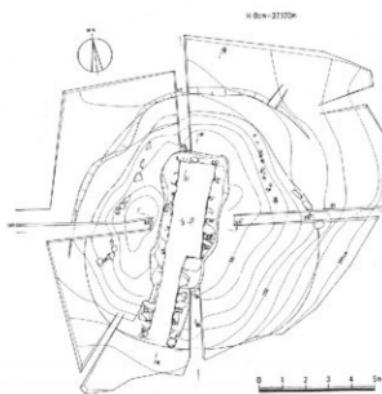
牛 窓 地 区

阿弥陀山西部

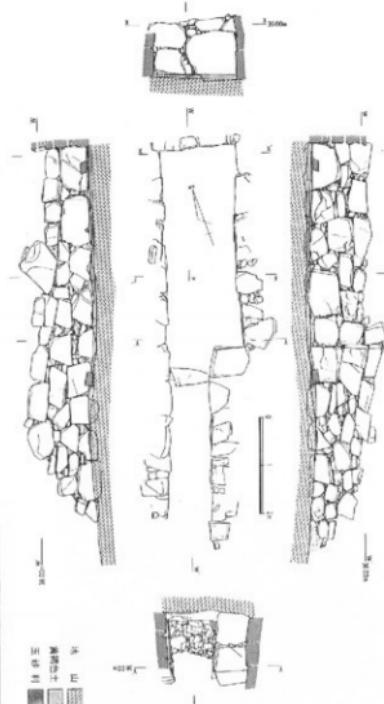


1 / 5000

乙佐塚古墳 (OAU01)



乙佐塚古墳墳丘図（「乙佐塚古墳発掘調査報告書」より）



乙佐塚古墳石室図
（「乙佐塚古墳発掘調査報告書」より）



乙佐塚古墳跡遠景（中央の丘陵）

填丘形態 円墳

填丘規模 径10.5×10.0m 高1.35m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 全長8.3m 幅1.7m 高1.6m

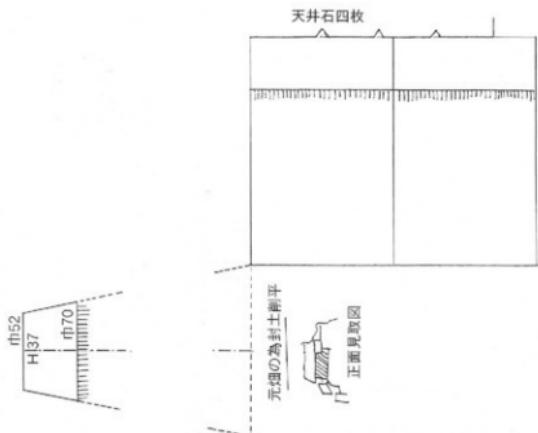
備考 消滅

「乙佐塚古墳発掘調査報告書」乙佐塚古墳埋

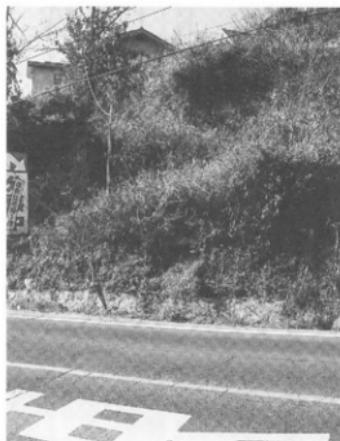
藏文化財発掘調査委員会1986、『牛窓町史資

料編II』「乙佐塚古墳」亀田修一 1996参照

上浦古墳 (OAU 0)



石室図 (S52.5.18調査)



墳丘現況



開口部

墳丘形態 不明

備考 墳丘上部は宅地への進入道が敷かれる

墳丘規模 不明

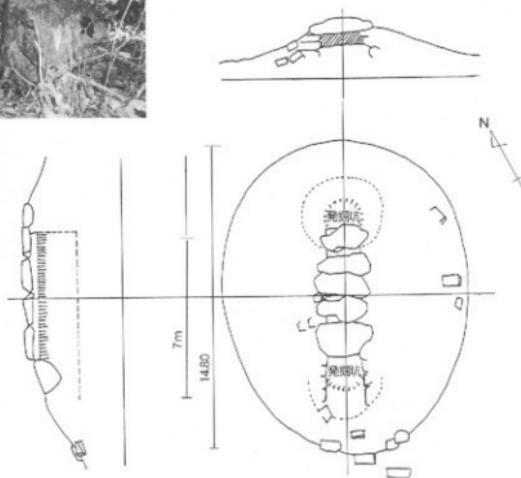
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長1.7m 幅0.7m 高0.37m

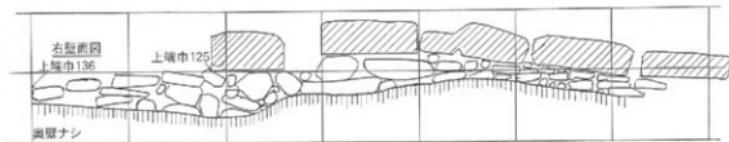
阿弥陀山 1号墳 (OAU 1)



開口部



墳丘図 (S 27.4.26調査)



西側壁面図 (S 27.4.26調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径14.8×11m 高2.5m

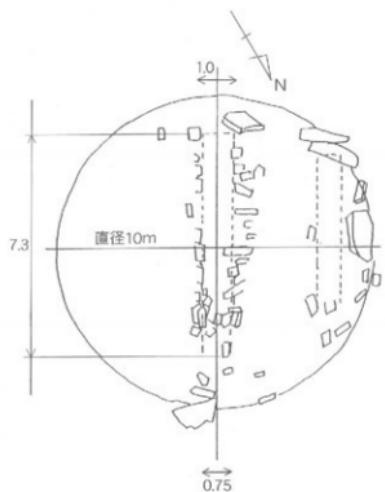
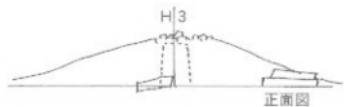
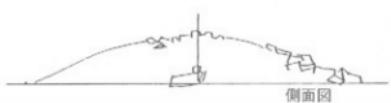
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長7m 幅1.4m 高2.5m

備考 奥壁は盜掘のため抜かれたのか、流土で埋

没かは確認できない

阿弥陀山2号墳 (OAU2)



墳丘図 (S52.5.13調査)



石室



奥壁側より玄門側を見る

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径10m 高3m

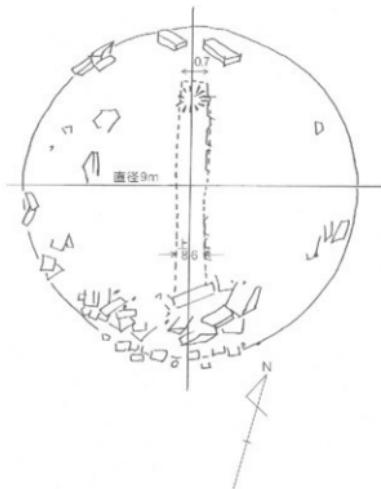
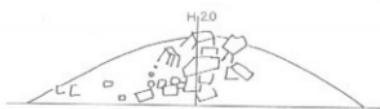
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長7.3m 幅1.0m

備考 奥壁の石材見えず*

西側の埋葬部らしきものは確認できない

阿弥陀山 3号墳 (OAU03)



墳丘図 (調査日不明)

墳丘

奥壁

墳丘形態 円墳

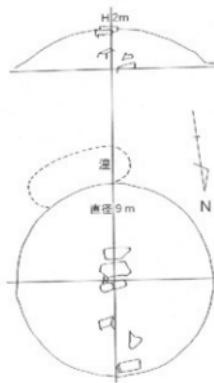
備考 石室の損壊著しい

墳丘規模 径9m 高2m

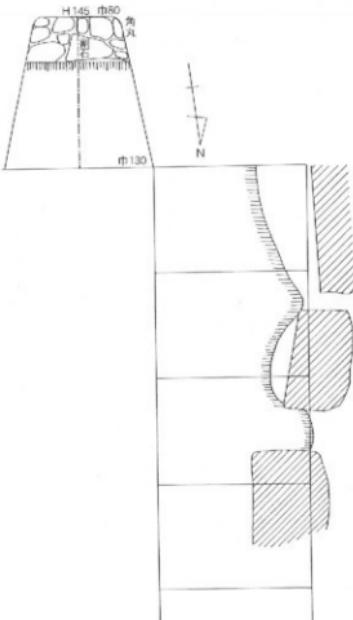
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長5.8m 幅0.86m

阿弥陀山 4号墳 (OAU 4)



墳丘図 (S 57.5.4 調査)



石室図 (S 57.5.4 調査)



開口部



奥壁

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径9m 高2m

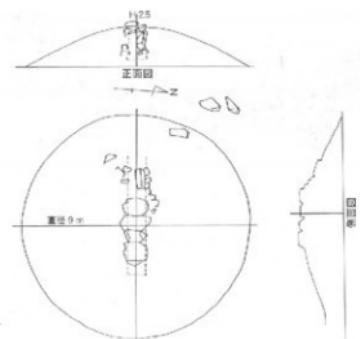
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長4.3m 幅1.3m 高1.45m

備考 S 57年調査後に盃堀を受けたのか現在は調

査時より埋葬部の埋土が少ない

阿弥陀山5号墳 四ツ塚地区 (OAU5)



墳丘図 (S 52.5.11調査)



開口部



石室図 (H 9.2.28調査)



奥壁側より開口部を見る

墳丘形態 円墳

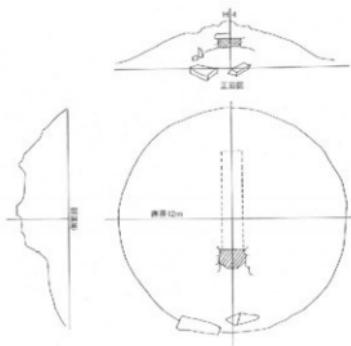
墳丘規模 径9m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長4.5m 幅1.0m 高1.1m

備考 天井石崩落のため奥壁見えず

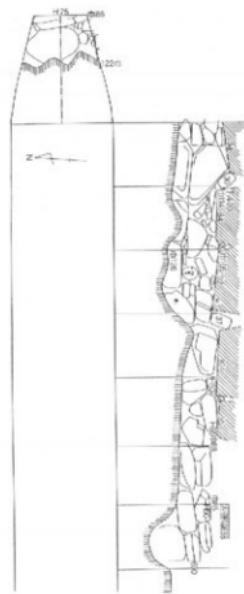
阿弥陀山 6号墳 四ツ塚地区 (OAU 6)



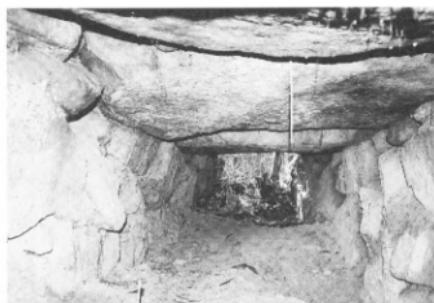
埴丘図 (S 52.5.11調査)



奥壁



石室図 (H 9.2.28調査)



奥壁側より開口部を見る

埴丘形態 円墳

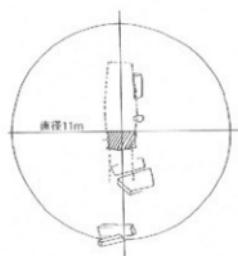
埴丘規模 径12m 高4m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長6.9m 幅1.22m 高0.75m

備考

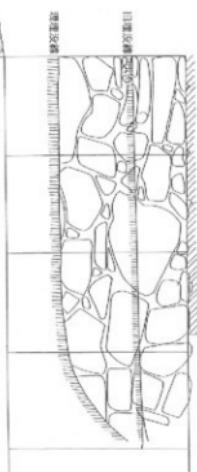
阿弥陀山7号墳 四ツ塚地区 (OAU7)



墳丘図 (S 26.5.6 調査)



N
北



石室図 (S 26.5.6 調査)



開口部



奥壁

墳丘形態 円墳

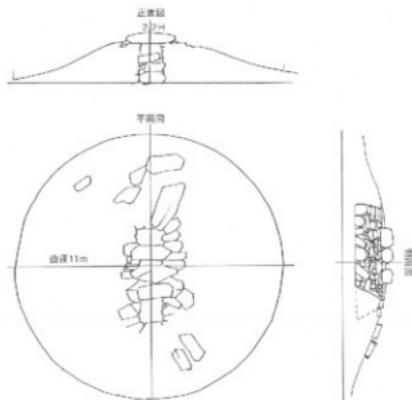
墳丘規模 径11m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

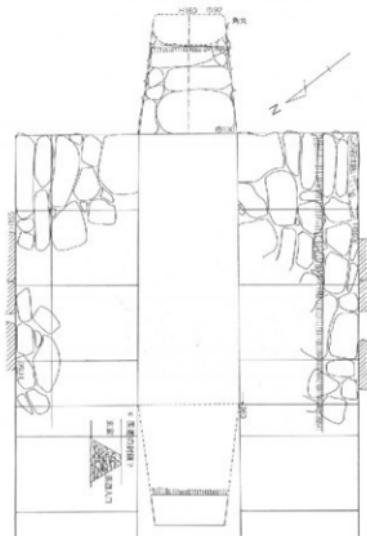
埋葬部規模 長4m 幅1.6m 高1.95m

備考

阿弥陀山8号墳 四ツ塚地区 (OAU 8)



墳丘図 (S 26.5.10調査)



石室図 (調査日不明 H 9才)



奥壁側より玄門方向を見る



奥壁

墳丘形態 円墳

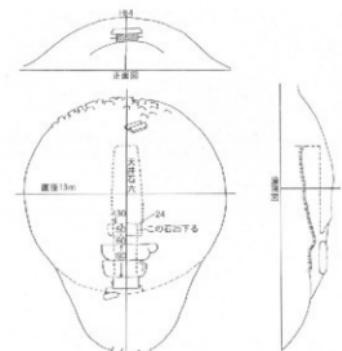
墳丘規模 径11m 高2.2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3.6m 幅1.3m 高1.6m

備考 灰道部分埋まる、閉塞かは不明

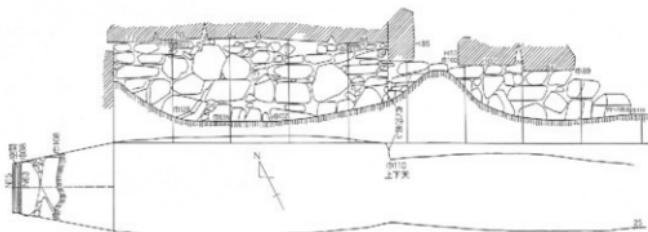
阿弥陀山 9号墳 四ツ塚地区 (OAU 9)



墳丘図 (S 52.5.11調査)



開口部



石室図 (調査日不明 H 9 力)



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

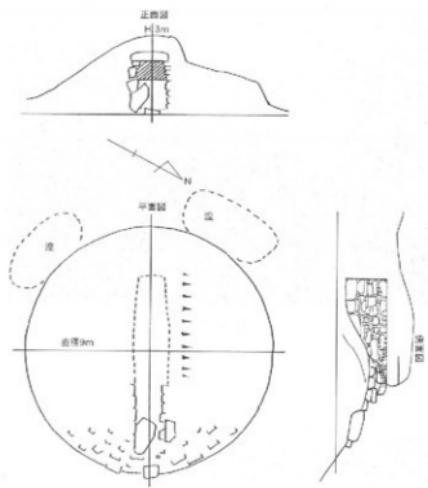
墳丘規模 径13m 高4m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長8.8m 幅1.1m 高1.3m

備考

阿弥陀山10号墳 四ツ塚地区 (OAU10)



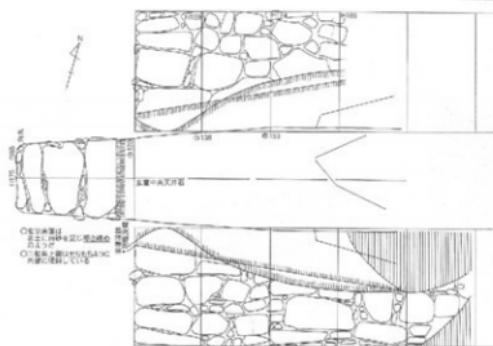
墳丘図 (S 26.5.27調査)



開口部



奥壁



石室図 (調査日不明 H 9力)



玄門部

墳丘形態 円墳

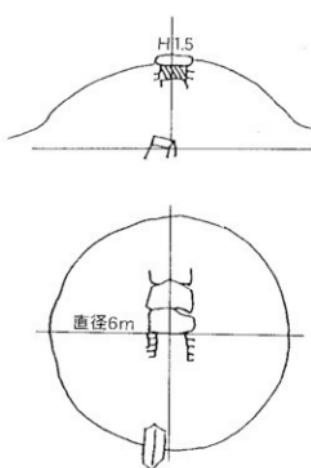
墳丘規模 径9m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

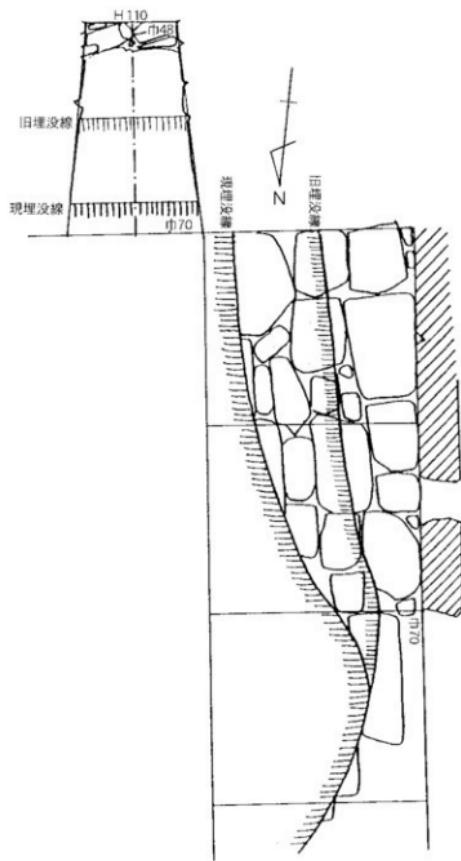
埋葬部規模 長5m 幅1.2m 高1.75m

備考 北側壁に約15cmせり出ず、袖部として記載

阿弥陀山11号墳 四ツ塚地区 (OAU11)



墳丘図 (S 27.4.27調査)



石室図 (S 27.4.27調査)

墳丘形態 円墳

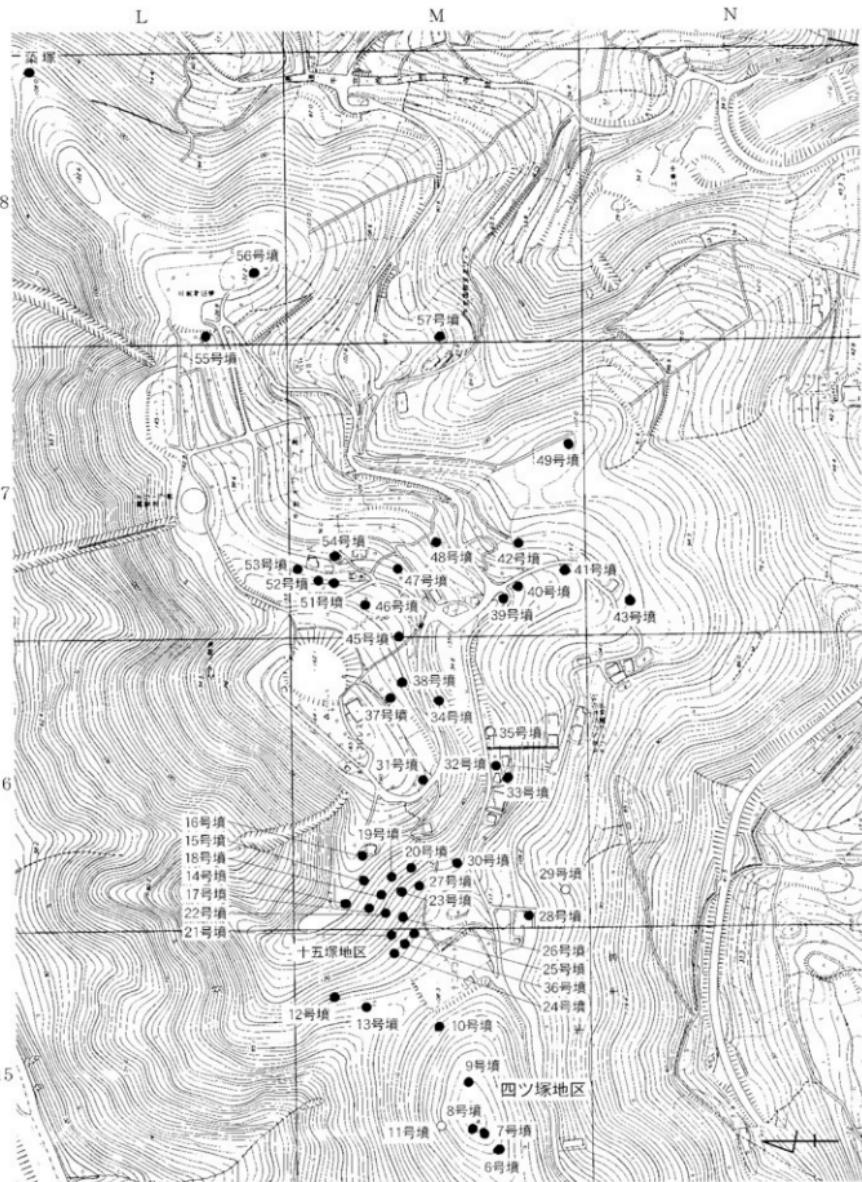
備考 S 52年以降の調査では確認できない

墳丘規模 径6m 高1.5m

埋葬部形態 横穴式石室

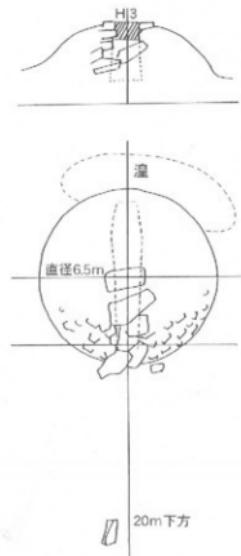
埋葬部規模 長3m 幅0.7m 高1.1m

阿弥陀山中央部

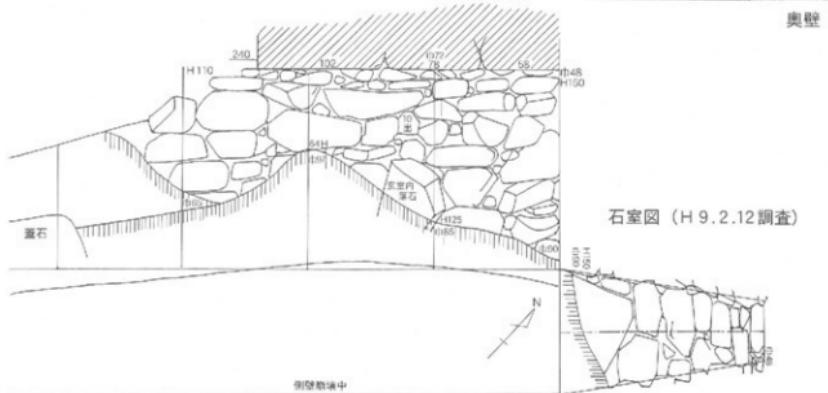


1/5000

阿弥陀山12号墳 (OAU12)



墳丘図 (S 27.1.27調査)



墳丘形態 円墳

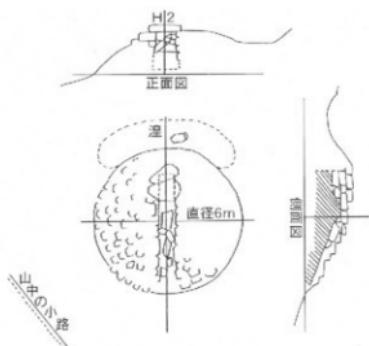
墳丘規模 径6.5m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室

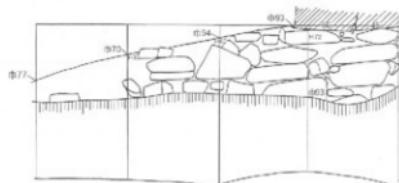
埋葬部規模 長3.3m 幅0.9m 高1.5m

備考

阿弥陀山13号墳 (OAU13)



墳丘図 (S 26.9.23調査)



開口部



石室図 (H 9.4.24調査)

墳丘形態 円墳

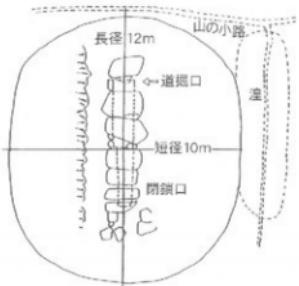
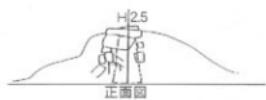
墳丘規模 径6m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

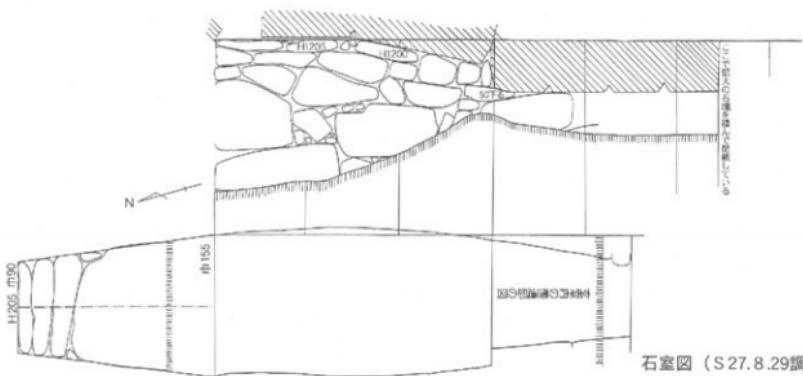
埋葬部規模 長4m 幅0.9m 高0.75m

備考 山の斜面の等高線と平行に石室を造る

阿弥陀山14号墳 十五塚地区 (OAU14)



墳丘図 (S 27.8.29調査)



墳丘形態 円墳

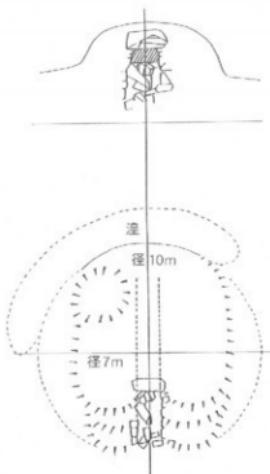
備考 焕道部は埋土で閉じられている

墳丘規模 径12×10m 高2.5m

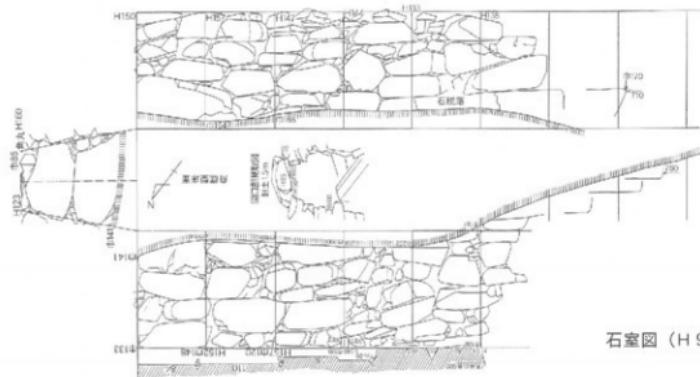
埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長5.5m 幅1.55m 高2.05m

阿弥陀山15号墳 十五塚地区 (OAU15)



墳丘図 (S 27.10.1調査)



石室図 (H 9.2.14調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径10×7m 高2.5m

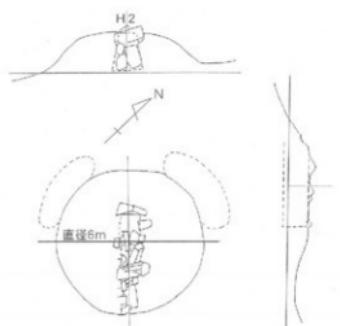
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長7.6m 幅1.41m 高1.6m

備考 現在斜面上部の墳丘の一部が造成道路によ

り削平を受けている

阿弥陀山16号墳 十五塚地区 (OAU16)



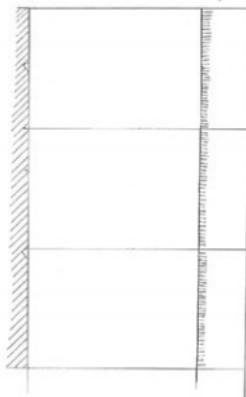
墳丘図 (S27.9.一調査)



墳丘 (北東より)



奥壁図 (S27.9.一調査)



石室

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径6m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3.8m 幅0.9m 高1.4m

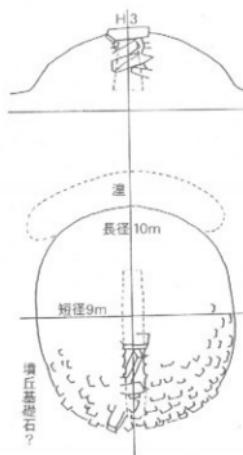
備考 昭和27年調査時の記録と写真の奥壁が合致

しないが、メモには「十五塚中の最高所に

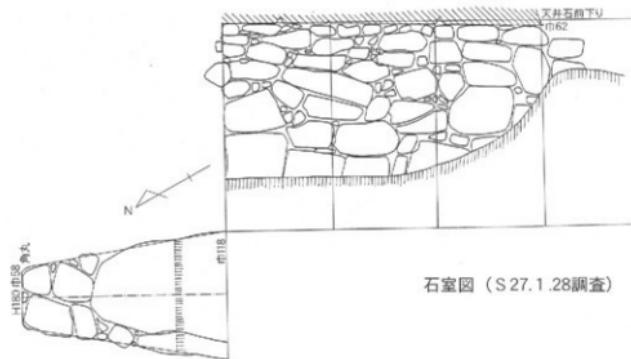
あり」とあり立地が合致するため16号墳と

して今回記載した

阿弥陀山17号墳 十五塚地区 (OAU17)



墳丘図 (S 27.1.28調査)



石室図 (S 27.1.28調査)

墳丘形態 円墳

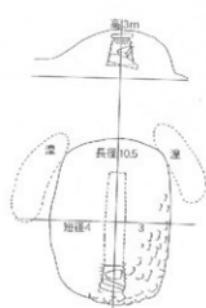
墳丘規模 径 $10 \times 9\text{m}$ 高 3m

埋葬部形態 横穴式石室

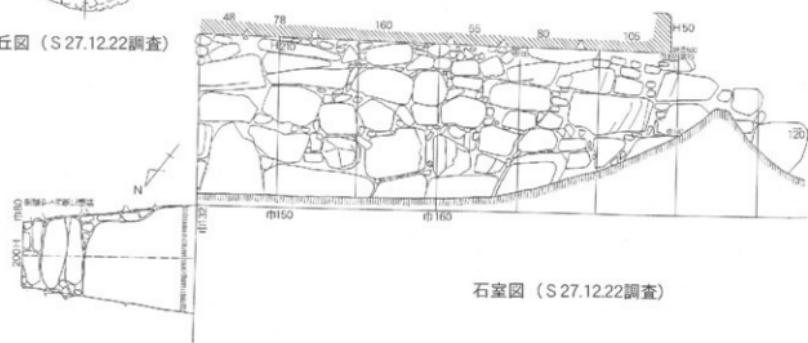
埋葬部規模 長 3.4m 幅 1.18m 高 1.8m

備考

阿弥陀山18号墳 十五塚地区 (OAU18)



填丘図 (S 27.12.22調査)



石室図 (S 27.12.22調査)

填丘形態 円墳

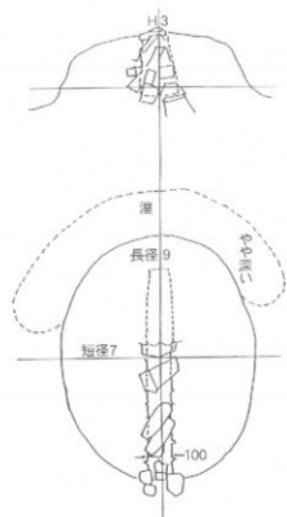
填丘規模 径10.5×7m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室

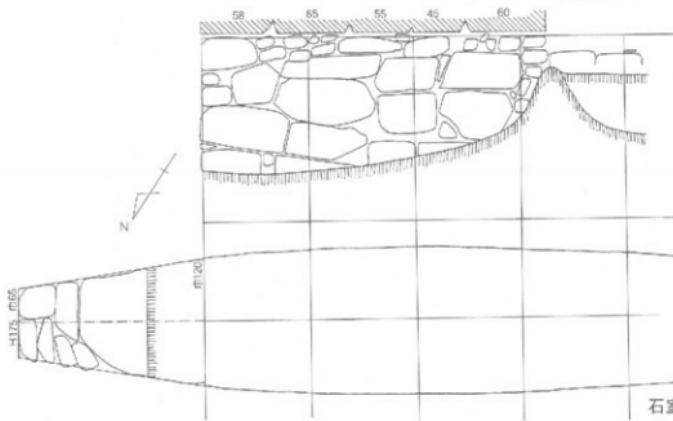
埋葬部規模 長7.2m 幅1.3m 高2.0m

備考

阿弥陀山19号墳 十五塚地区 (OAU19)



填丘図 (S 26.8. -調査)



填丘形態 円墳

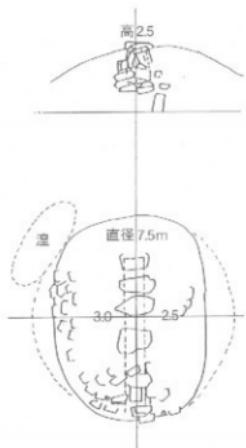
填丘規模 径9×7m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室

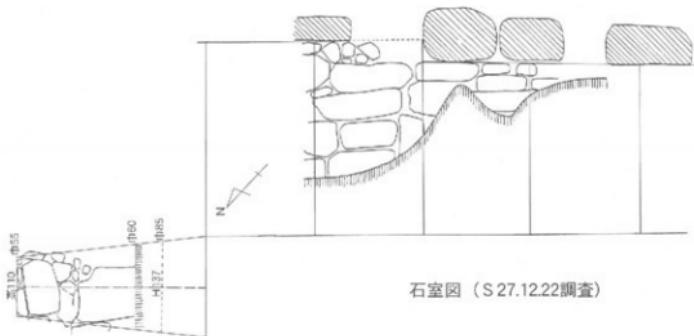
埋葬部規模 長3.24m 幅1.2m 高1.75m

備考

阿弥陀山20号墳 十五塚地区 (OAU20)



墳丘図 (S 27.12.22調査)



石室図 (S 27.12.22調査)

墳丘形態 円墳

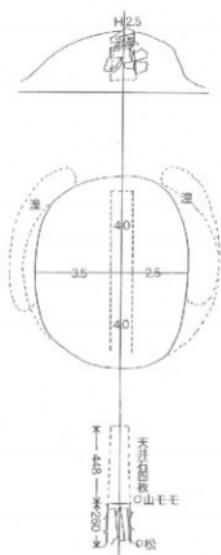
墳丘規模 径7.5×5.5m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

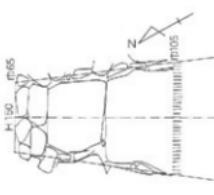
埋葬部規模 長3m 幅0.6m 高1.1m

備考

阿弥陀山21号墳 十五塚地区 (OAU21)



墳丘図 (S 52.5.13調査)



石室図 (S 52.5.13調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径8×6m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

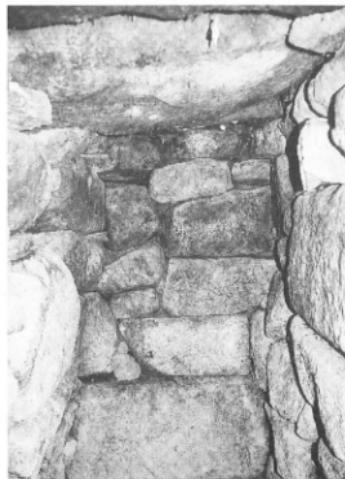
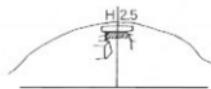
埋葬部規模 長4.7m 幅1.05m 高1.5m

備考

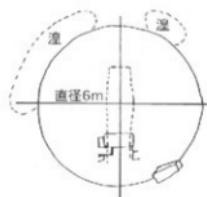
阿弥陀山22号墳 十五塚地区 (OAU22)



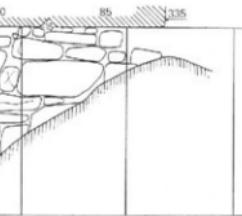
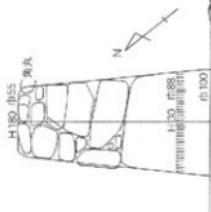
開口部



奥壁



填丘図 (S 27.12.22調査)



石室図 (S 27.12.22調査)

墳丘形態 円墳

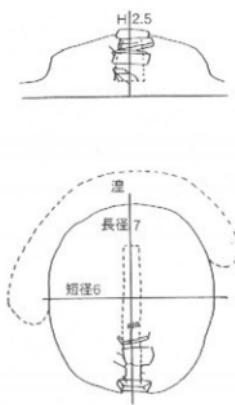
墳丘規模 径6m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3.35m 幅0.88m 高1.5m

備考

阿弥陀山23号墳 十五塚地区 (OAU23)



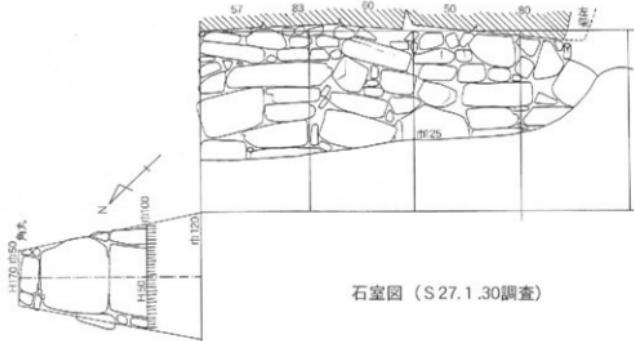
墳丘図 (S 27.1.30調査)



開口部



奥壁



石室図 (S 27.1.30調査)

墳丘形態 円墳

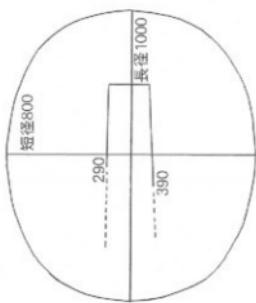
墳丘規模 径7×6m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

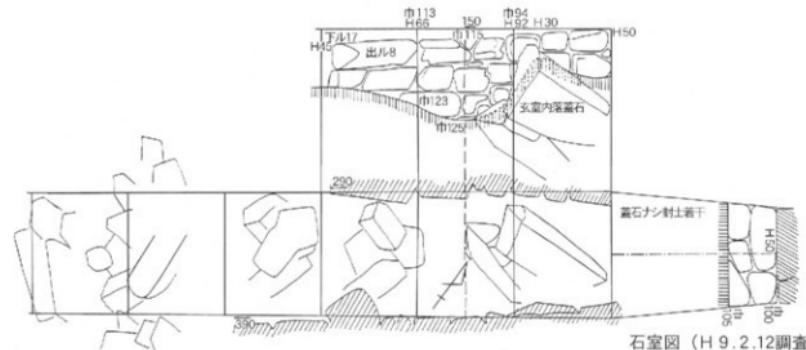
埋葬部規模 長3.6m 幅1m 高1.2m

備考

阿弥陀山24号墳 十五塚地区 (OAU24)



填丘図 (H 9.2.12調査)



石室図 (H 9.2.12調査)

填丘形態 円墳

填丘規模 径10×8m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3.9m 幅1.05m 高0.5m

備考

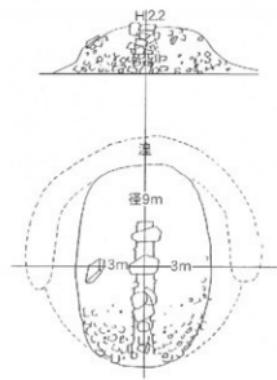
阿弥陀山25号墳 十五塚地区 (OAU25)



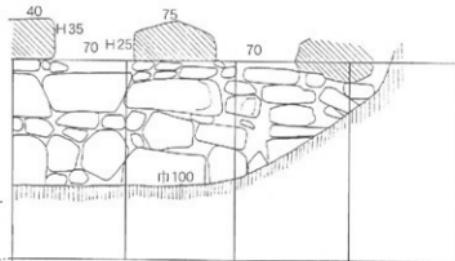
奥壁



石室



墳丘図 (S 27.12.22調査)



石室図 (S 27.12.22調査)

墳丘形態 円墳

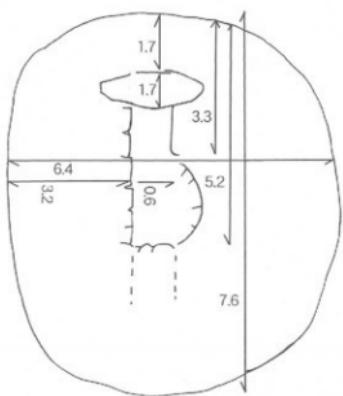
墳丘規模 径9×6m 高2.2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3.2m 幅0.85m 高1.15m

備考

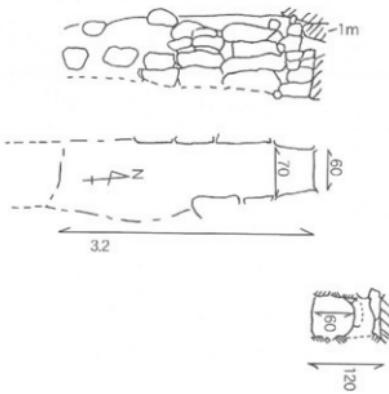
阿弥陀山36号墳 十五塚地区



墳丘図 (H 14.2.18若松略図)



石室



石室図 (H 14.2.18若松略図)



奥壁

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径7.6×6.4m 高1.6m

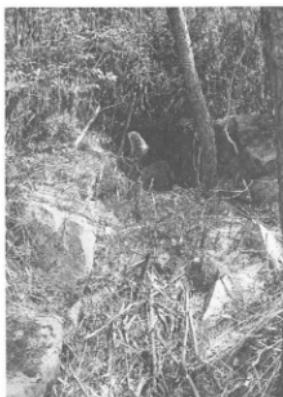
備考 平成13年2月の調査時に確認、以前の調査

埋葬部形態 横穴式石室

記録には該当する古墳がない

埋葬部規模 長3.2m 幅0.6m 高1.2m

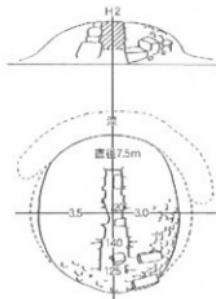
阿弥陀山26号墳 十五塚地区 (OAU26)



石室



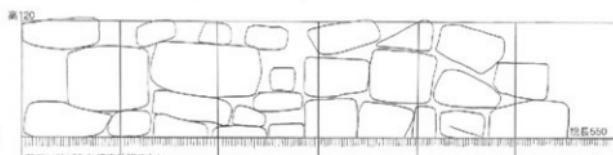
奥壁



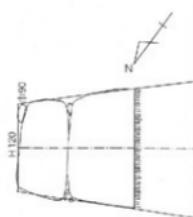
填丘図 (S 27.12.22調査)



南東側壁



石室図 (S 27.12.22調査)



填丘形態 円墳

填丘規模 径7.5×6.5m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長5.5m 幅1.2m 高1.2m

備考 昭和27年調査時の記録と奥壁は合致するも

のの、側壁は合致しない

阿弥陀山27号墳 十五塚地区 (OAU27)



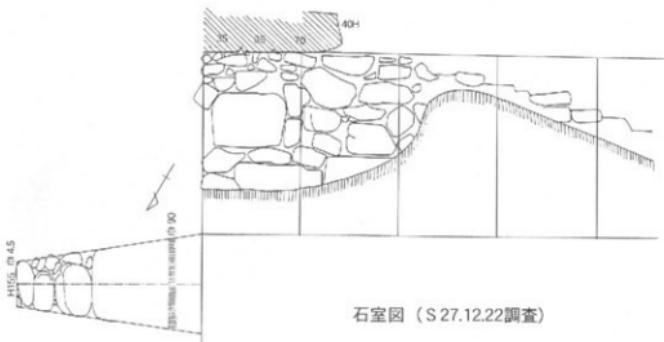
墳丘図 (S 27.12.22調査)



開口部



奥壁



石室図 (S 27.12.22調査)

墳丘形態 円墳

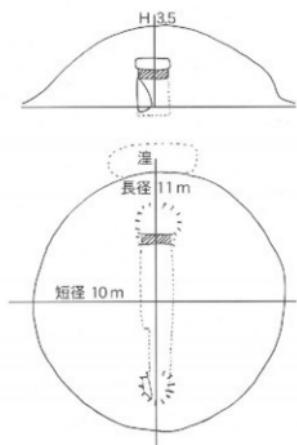
墳丘規模 径6.5×5m 高3.5m

埋葬部形態 横穴式石室

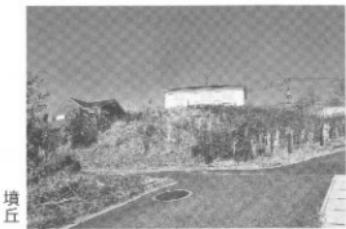
埋葬部規模 長4.5m 幅0.9m 高1.55m

備考

阿弥陀山28号墳 (OAU28)



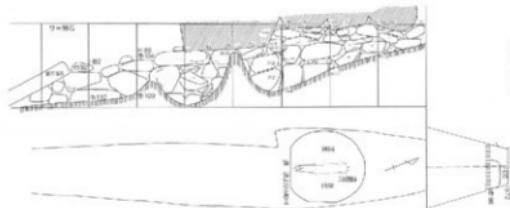
墳丘図 (S 52.5.12調査)



墳丘



開口部



石室図 (H 9.2.13調査)



奥壁側



玄門部

墳丘形態 円墳

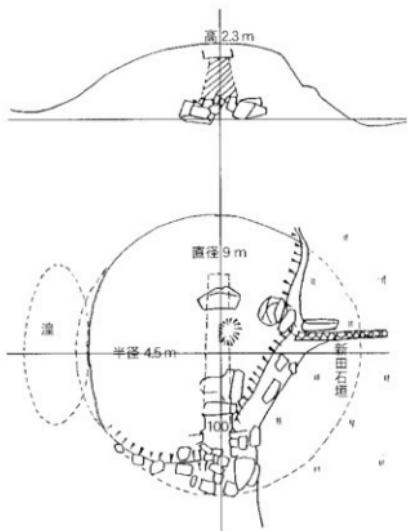
墳丘規模 径11×10m 高3.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

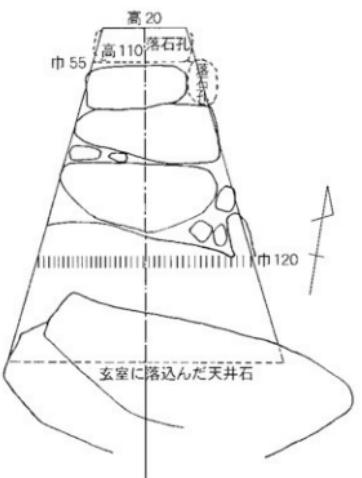
埋葬部規模 長8.3m 幅1.5m 高1.9m

備考 分譲地の一画に緑地として保護されている

阿弥陀山29号墳 (OAU29)



墳丘図 (S 27.12.22調査)



奥壁図 (S 27.12.22調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径9m 高2.3m

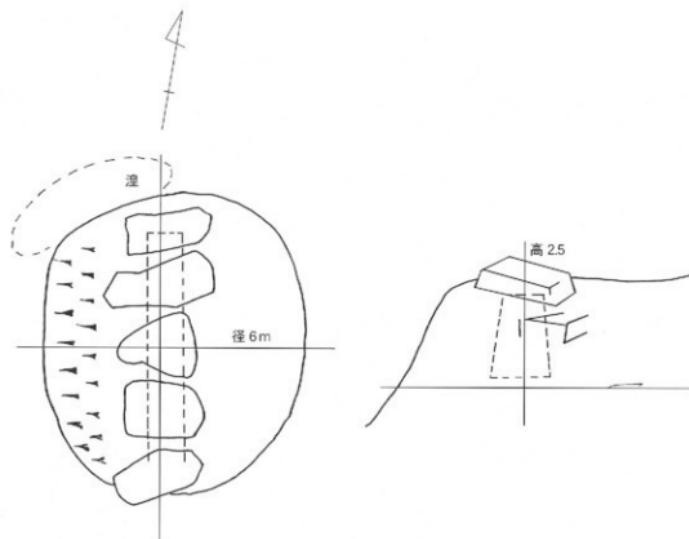
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長不明 幅1.2m 高1.1m

備考 近年の調査で確認できず、削平された可能

性が高い

阿弥陀山30号墳 (OAU30)



墳丘図 (S 27.12.22調査)



墳丘形態 円墳

墳丘規模 径 6m 高 2.5m

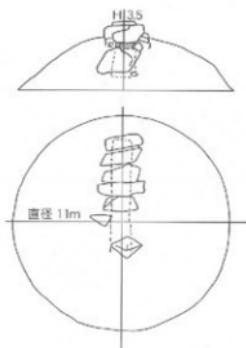
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長 4m 幅 1.2m 高 0.7m

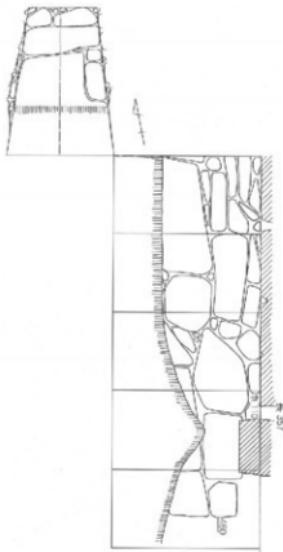
備考 昭和52年の調査時に奥壁・天井石・側壁が

なしと記載あり

阿弥陀山31号墳 (OAU31)



墳丘図 (S 27.3.9 調査)



石室図 (S 27.3.9 調査)



墳丘 (南より)



開口部



奥壁

墳丘形態 円墳

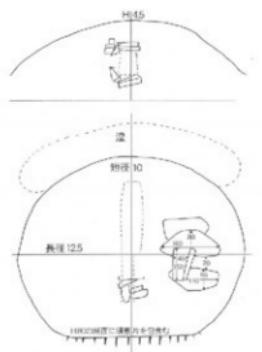
墳丘規模 径11m 高3.5m

埋葬部形態 横穴式石室

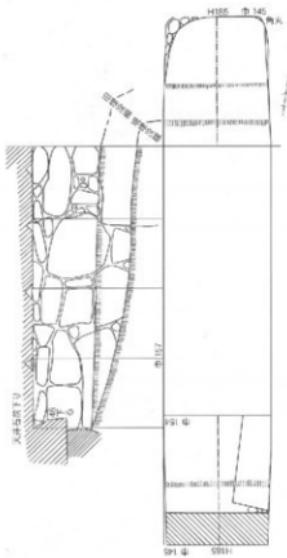
埋葬部規模 長4.6m 幅1.3m 高1.9m

備考

阿弥陀山32号墳 (OAU32)



墳丘図 (S 26.12.26調査)



石室図 (S 26.12.26調査)



墳丘（北より）



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

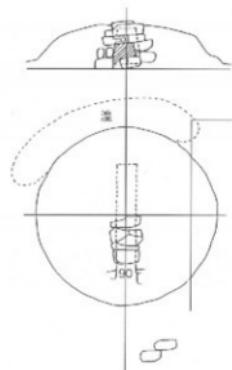
墳丘規模 径 $12.5 \times 10\text{m}$ 高 4.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

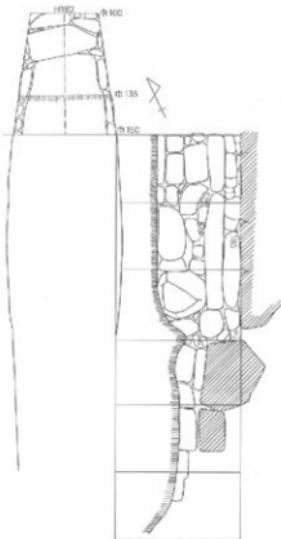
埋葬部規模 長 5m 幅 1.54m 高 1.85m

備考

阿弥陀山33号墳 (OAU33)



墳丘図 (S 52.5.31調査)



石室図 (S 52.5.31調査)



開口部



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

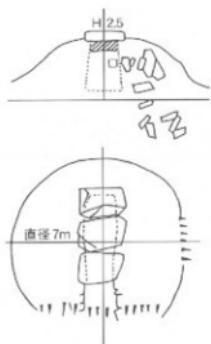
墳丘規模 径9.5m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長5.4m 幅1.5m 高1.8m

備考

阿弥陀山34号墳 (OAU34)



墳丘図 (S 27.3.16調査)



石室図 (H 27.3.16調査)



墳丘 (北東より)



開口部



奥壁

墳丘形態 円墳

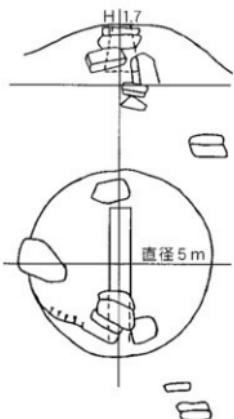
墳丘規模 径 7 m 高 2.5 m

埋葬部形態 横穴式石室

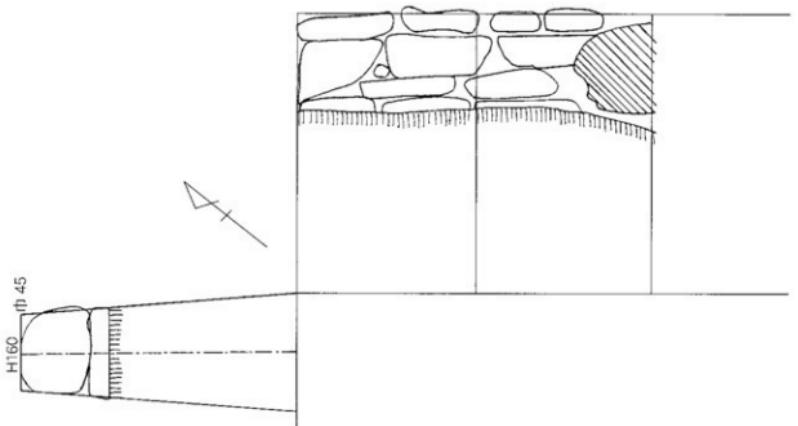
埋葬部規模 長 5.2 m 幅 1.2 m 高 1.95 m

備考

阿弥陀山35号墳 (OAU35)



墳丘図 (S 27.12.22調査)



石室図 (S 27.12.22調査)

墳丘形態 円墳

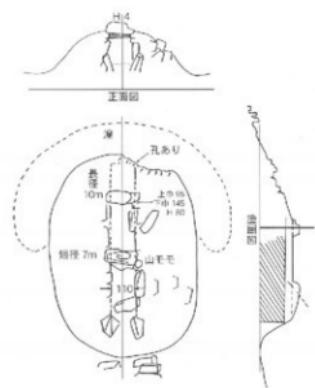
備考 消滅

墳丘規模 径 5m 高 1.7m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長 2m 幅 0.75m 高 1.6m

阿弥陀山37号墳 (OAU37)



墳丘図 (H 9.2.17調査)



墳丘 (西より)



石室図 (H 9.2.17調査)



玄室開口部



奥壁

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径10×7m 高4m

埋葬部形態 横穴式石室

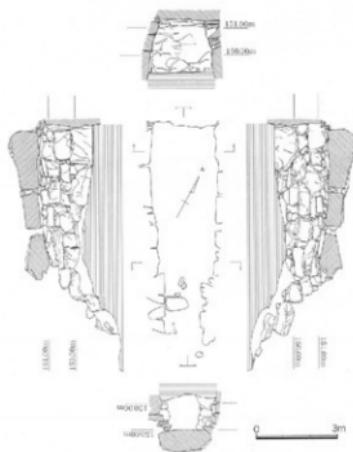
埋葬部規模 長8.3m 幅1.24m 高0.6m

備考

阿弥陀山38号墳 (OAU38)



墳丘図（「牛窓町史 資料編Ⅱ」より）



石室図（「牛窓町史 資料編Ⅱ」より）



墳丘形態 円墳

墳丘規模 径13.5m 高4.5m

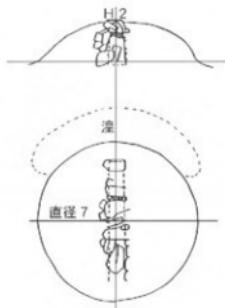
埋葬部形態 横穴式石室 両袖

埋葬部規模 長8.2m(玄室長5.6m) 幅2.48m 高2m

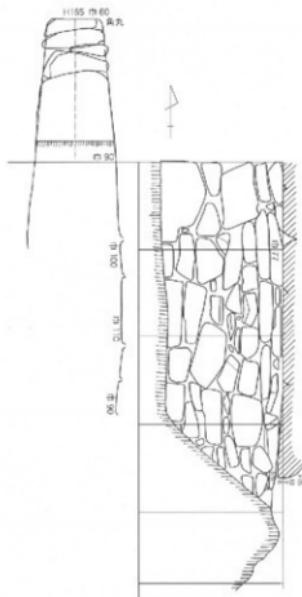
備考 『牛窓町史 資料編Ⅱ』「阿弥陀山古墳群」

亀田修・1997参照

阿弥陀山39号墳 (OAU39)



墳丘図 (H27.9.28調査)



石室図 (H27.9.28調査)



墳丘 (南東より)



開口部



奥壁

墳丘形態 円墳

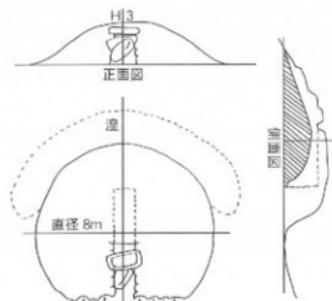
墳丘規模 径7m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長4m 幅0.9m 高1.65m

備考

阿弥陀山40号墳 (OAU40)



墳丘図 (H27.10.5 調査)



石室図 (H27.10.5 調査)



墳丘形態 円墳

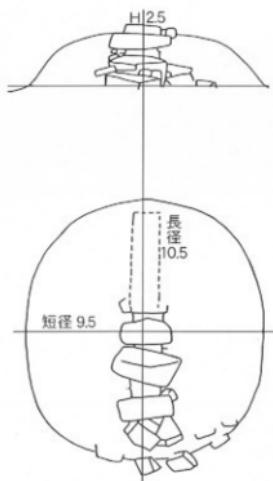
墳丘規模 径8m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長5.7m 幅1.3m 高0.82m

備考

阿弥陀山41号墳 (OAU41)



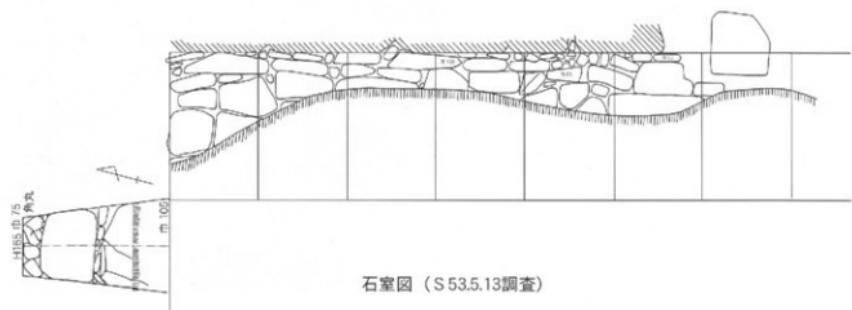
墳丘図 (S 53.5.13調査)



開口部



奥壁



石室図 (S 53.5.13調査)

墳丘形態 円墳

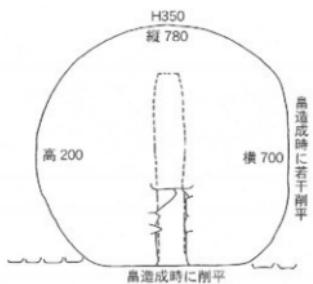
墳丘規模 径9.5m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

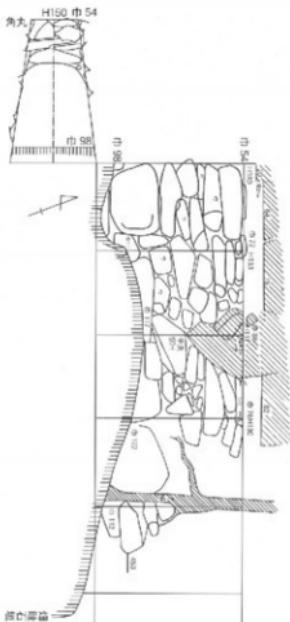
埋葬部規模 長8m 幅1.05m 高1.65

備考

阿弥陀山42号墳 (OAU42)



墳丘図 (H 9.2.17調査)



石室図 (H 9.2.17調査)



墳丘形態 円墳

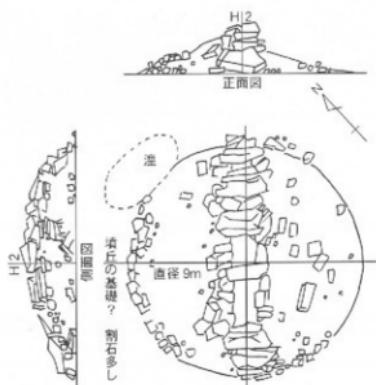
備考

墳丘規模 径7.8×7m 高3.5m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長4.53m 幅0.98m 高1.5m

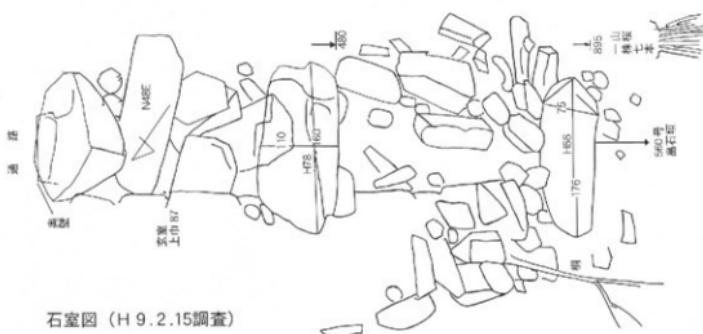
阿弥陀山43号墳 (OAU43)



墳丘図 (S 27.7.一調査)



墳丘（南東より）



石室図 (H 9.2.15調査)

墳丘形態 円墳

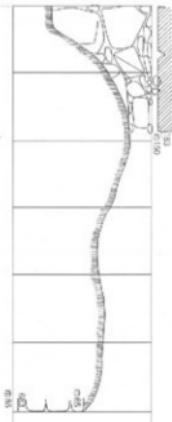
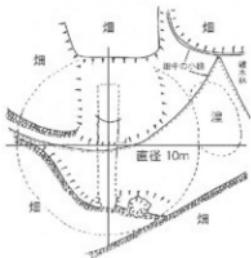
墳丘規模 径9m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長8.95m 幅0.98m 高0.9m

備考

阿弥陀山44号墳 (OAU44)



石室図 (S 52.5.17調査)



墳丘形態 円墳

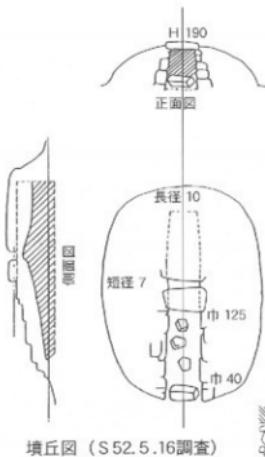
墳丘規模 径10m 高2.8m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長6.83m 幅1.4m 高1.45m

備考 位置図は牛窓南部 (P65) を参照

阿弥陀山45号墳 (OAU45)



墳丘形態 円墳

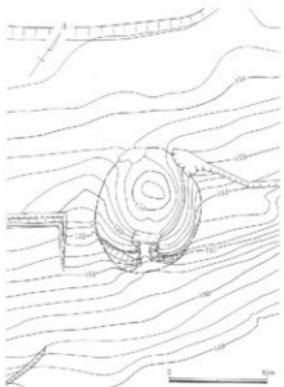
墳丘規模 径10×7m 高1.9m

埋葬部形態 横穴式石室

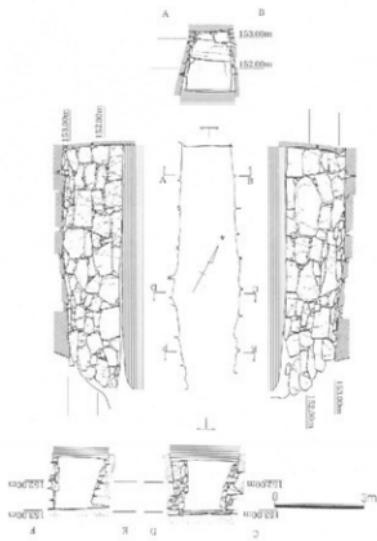
埋葬部規模 長8.6m 幅1.4m 高1.9m

備考

阿弥陀山46号墳 (OAU46)



墳丘図（「牛窓町史 資料編Ⅱ」より）



石室図（「牛窓町史 資料編Ⅱ」より）

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径13×11m 高3.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖式

埋葬部規模 長8.32m(玄室長5.44m) 幅1.6m 高2m

墳丘（東より）



開口部

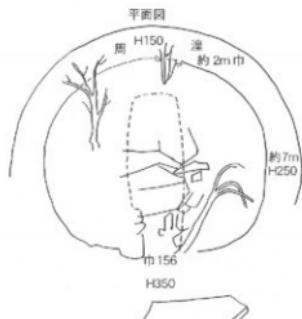


奥壁

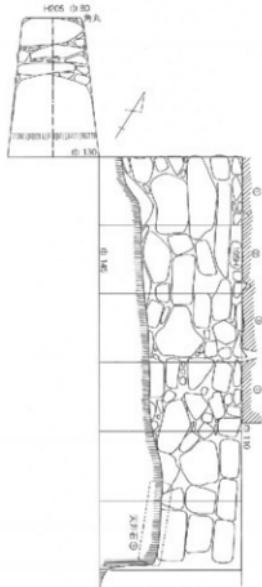
備考 『牛窓町史 資料編Ⅱ』「阿弥陀山古墳群」

亀田修一 1997参照

阿弥陀山47号墳 (OAU47)



墳丘図 (H 9.5.25調査)



石室図 (S 27.4.13調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径7m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長6m 幅1.3m 高2.05m



墳丘 (北西より)



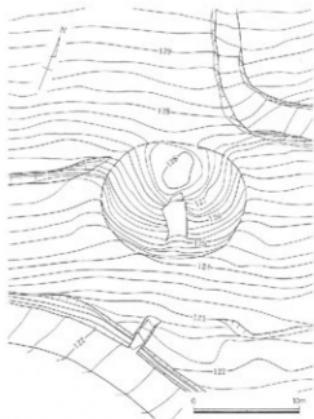
開口部



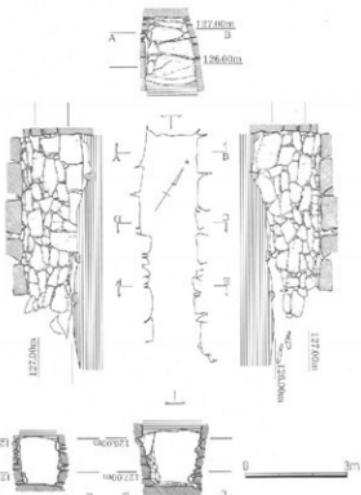
奥壁

備考

阿弥陀山48号墳 (OAU48)



墳丘図（「牛窓町史 資料編Ⅱ」より）



石室図（「牛窓町史 資料編Ⅱ」より）

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径13.4×11m 高4m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長6.72m(玄室長2.96m) 幅1.76m 高2m



墳丘
(東より)



開口部



奥壁

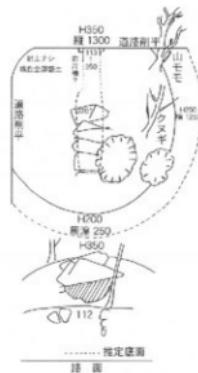


玄門部

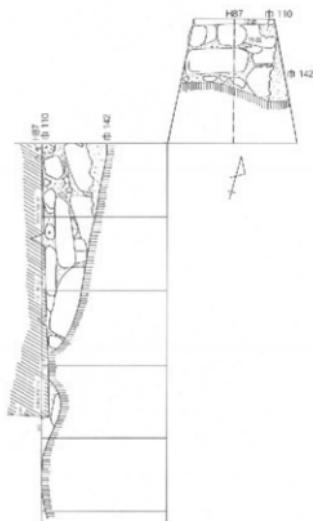
備考 『牛窓町史 資料編Ⅱ』「阿弥陀山古墳群」

亀田修一 1997参照

阿弥陀山49号墳 (OAU49)



墳丘図 (H 9.2.25調査)



石室図 (H 9.2.25調査)



墳丘 (北東より)



開口部



奥壁

墳丘形態 円墳

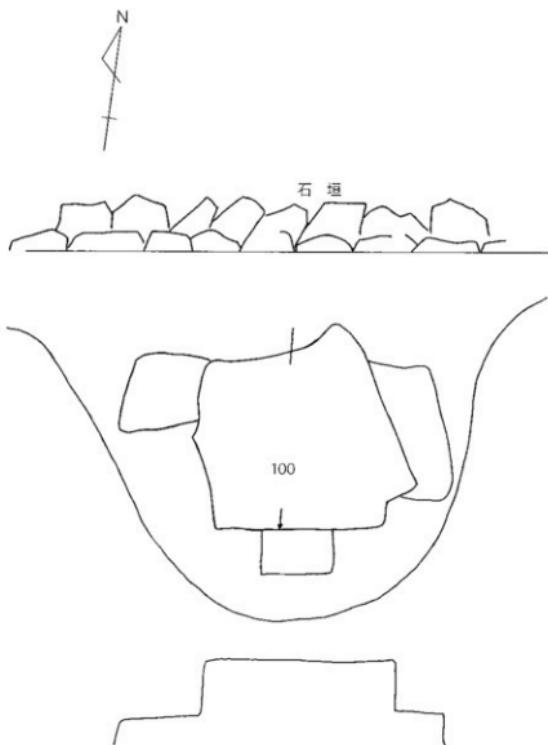
墳丘規模 径13m 高3.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖式

埋葬部規模 長3.7m 幅1.42m 高0.87m

備考

阿弥陀山50号墳 (OAU50)



墳丘図 (S 26.12.9 調査)

墳丘形態 円墳カ

備考 「邑久郡史」に金剛頂寺（西寺）附近に20

墳丘規模 不明

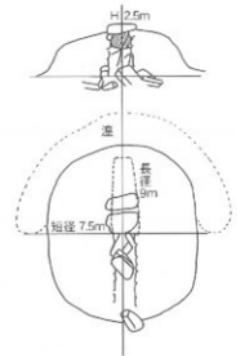
基ばかりありと記載されるが現在はまったく

埋葬部形態 不明

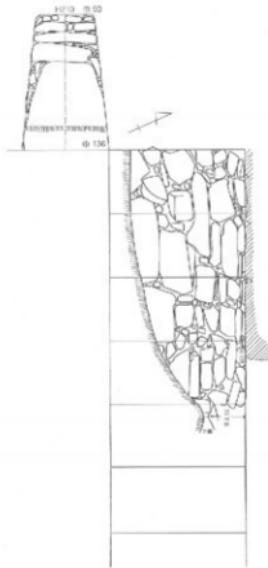
確認できない

埋葬部規模 不明

阿弥陀山51号墳 (OAU51)



墳丘図 (S 26.12.28調査)



石室図 (S 26.12.28調査)



開口部



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

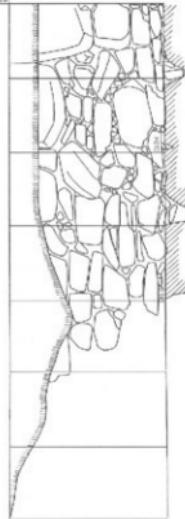
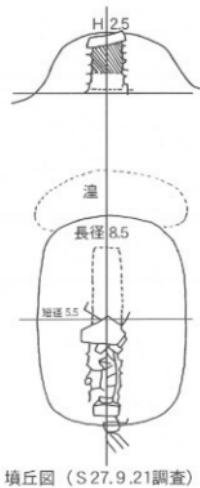
墳丘規模 径9×7.5m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長4.5m 幅1.36m 高2.1m

備考

阿弥陀山52号墳 (OAU52)



填丘形態 円墳

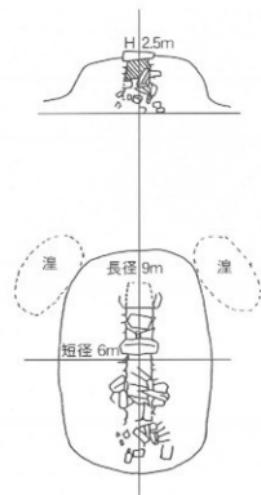
填丘規模 径8.5×5.5m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長5.2m 幅1.25m 高2.1m

備考

阿弥陀山53号墳 (OAU53)



墳丘図 (S 27.8.30調査)



縫隙
開口部



石室図 (S 27.8.30調査)

墳丘形態 円墳

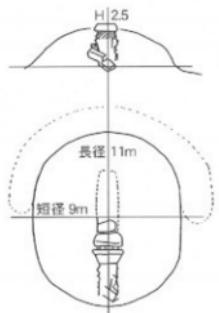
墳丘規模 径9×6m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

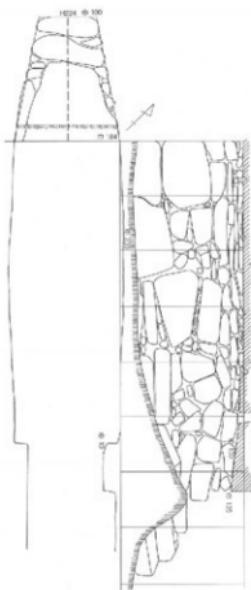
埋葬部規模 長6.7m 幅1.35m 高1.8m

備考

阿弥陀山54号墳 (OAU54)



墳丘図 (S 52.5.17調査)



石室図 (S 52.5.17調査)



開口部



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径11×9m 高2.5m

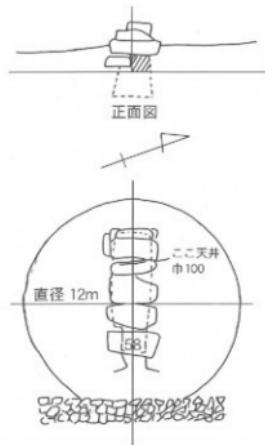
埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長7.8m 幅1.84m 高2.24m

備考 東側玄門付近の側壁が一部出ているが、こ

れは崩落によるものである。

阿弥陀山55号墳 (OAU55)



墳丘図 (S 27.9.28調査)



開口部



奥壁



天井石

墳丘形態 円墳

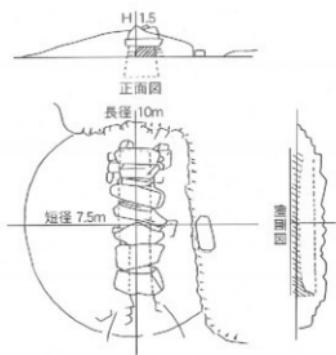
墳丘規模 径12m 高1m

埋葬部形態 横穴式石室

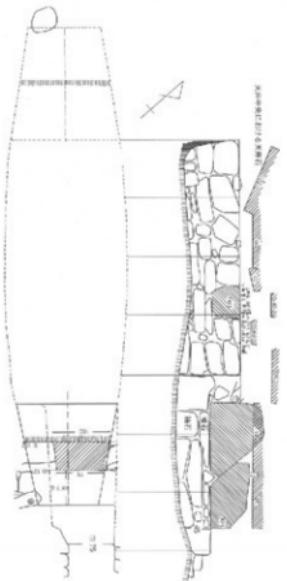
埋葬部規模 長7.7m 幅1.7m 高1.8m

備考

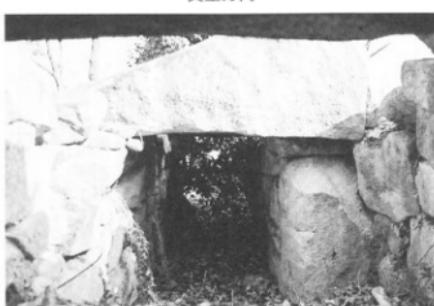
阿弥陀山56号墳 (OAU56)



墳丘図 (S 27.9.28調査)



石室図 (S 27.9.28調査)



墳丘形態 円墳

墳丘規模 径 $10 \times 7.5\text{m}$ 高 1.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長 7.5m 幅 1.5m 高 0.9m

備考

阿弥陀山57号墳



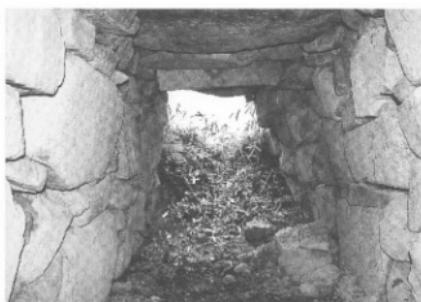
墳丘



開口部



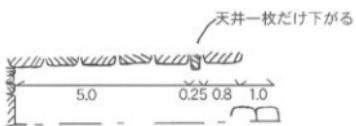
奥壁



玄門部



西側壁（玄門側より）



石室（天井石断面）略図

墳丘形態 円墳

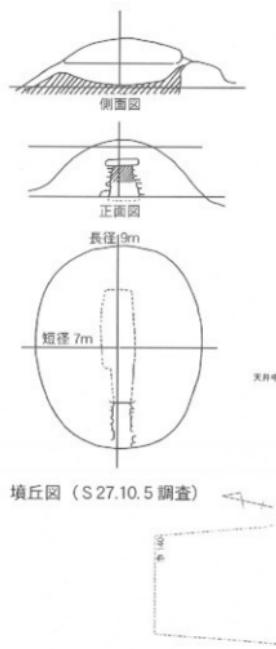
備考 過去の調査記録なし

墳丘規模 径10m 高2.5m

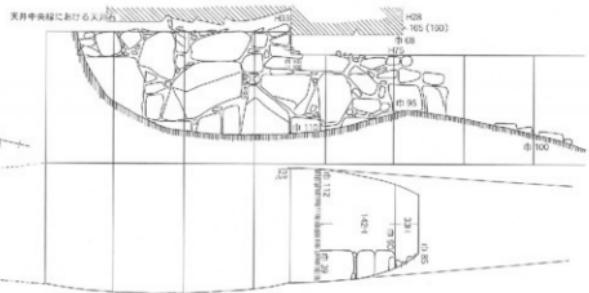
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長8m 幅1.4m 高1.5m

築塚（大山塚）(OAU57)



開口部



石室図 (S 27.10.5 調査)



奥壁方向



玄門部

埴丘形態 円墳

埴丘規模 径9×7m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長8m 幅1.6m 高1.8m

備考 昭和十年頃に奥壁附近から装飾器台が出土

したと伝えられている。また、堤瓶などの

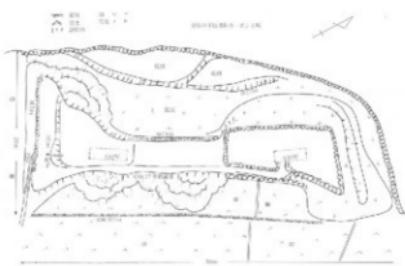
出土も確認されている。

牛窓南部

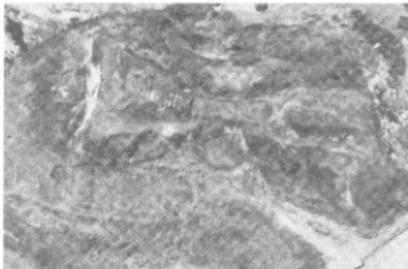


1/5000

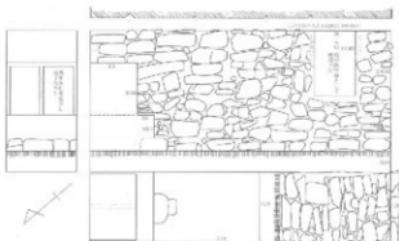
波歌山古墳 (OAU36)



墳丘図 (S 28.2.15調査)



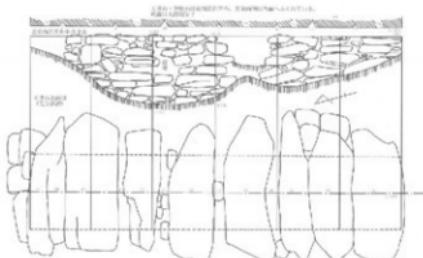
墳丘 (松本幸男所蔵写真)



後円部石室図 (S 28.2.15調査)



墳丘跡 (中央の丘陵部)



前方部石室図 (S 28.2.15調査)

墳丘形態 前方後円墳（消滅）

墳丘規模 長60m（後円部径30m 高8m
前方部長34m 幅30m 高6m）

埋葬部形態 竪穴式石室（後円部、前方部に各1）

埋葬部規模 後円部長5.1m 幅1.2m 高2.1m
前方部長6m 幅1.3m 高1.2m

備考 『岡山県埋蔵文化財報告三』「波歌山古墳」高橋謙 1973

『岡山県史一八考古資料』「波歌山古墳」近藤義郎 1986

『牛窓町史資料編Ⅱ』「波歌山古墳」龟田修一 1997参照

牛窓天神山周辺

19

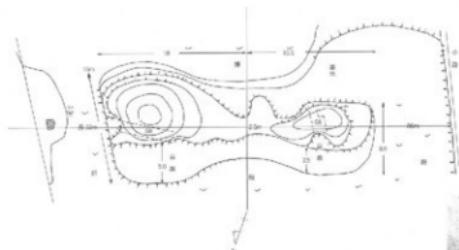
20

21



1/5000

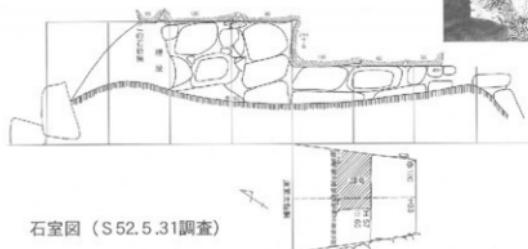
経塚 1号墳 (OAU58)



填丘図 (S52.5.31調査)



開口部



石室図 (S52.5.31調査)



奥壁



玄門部

填丘形態 円墳

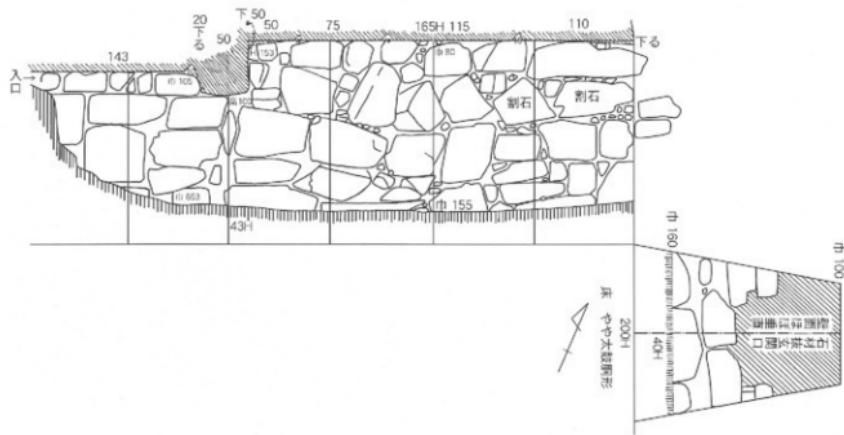
備考

填丘規模 径10m 高3.5m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長6m 幅1.65m 高1.5m

経塚2号墳 (OAU59)



石室図 (S 52.5.31調査)

※墳丘図は経塚1号墳参照



墳丘形態 円墳

墳丘規模 径11m 高4m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長6m 幅1.6m 高1.6m

備考

牛窓天神山古墳 (OAU60)



墳丘図（「岡山県史一八考古資料」より）

墳丘形態	前方後円墳	備考	『岡山県史一八考古資料』「牛窓天神山古墳」
墳丘規模	長85m (後円部径50m 高8m) 前方部長35m 幅25m 高4m)		近藤義郎 1986
埋葬部形態	竪穴式石室式		『牛窓町史資料編Ⅱ』「牛窓天神山古墳」
埋葬部規模	不明		亀田修一 1997参照

牛窓神社周辺

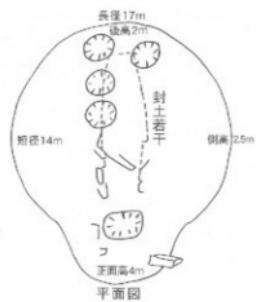
21

22

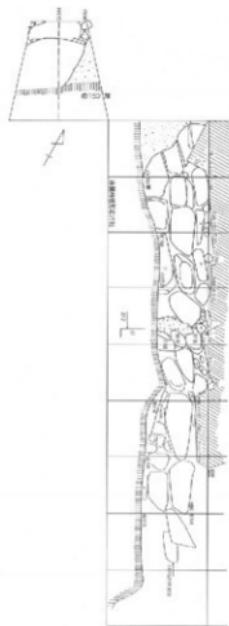


1 / 5000

龜山 1号墳 (OAU61)



墳丘図 (H 9.3.24調査)



石室図 (H 9.3.24調査)



開口部



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

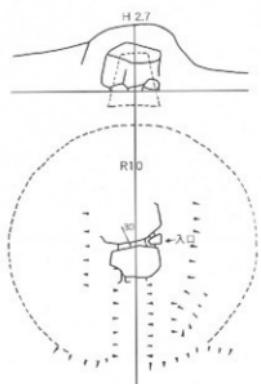
墳丘規模 径17×14m 高3.5m

埋葬部形態 橫穴式石室 片袖

埋葬部規模 長8.5m 幅1.5m 高1.2m

備考

亀山2号墳 (OAU62)



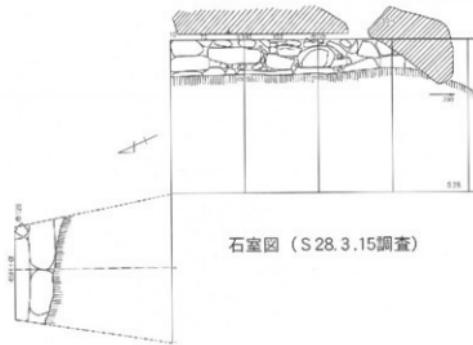
墳丘図 (S 28.3.15調査)



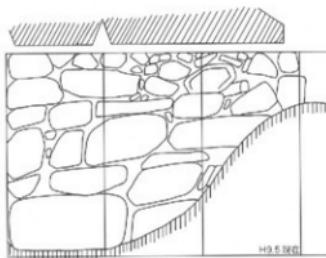
開口部



奥壁



石室図 (S 28.3.15調査)



石室図 (H 9.5.21調査)

墳丘形態 円墳

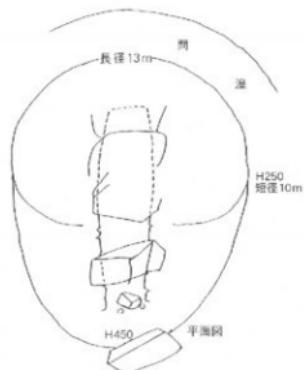
墳丘規模 径10m 高2.7m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3.9m 幅1.5m 高1.8m

備考

龜山3号墳 (OAU64)



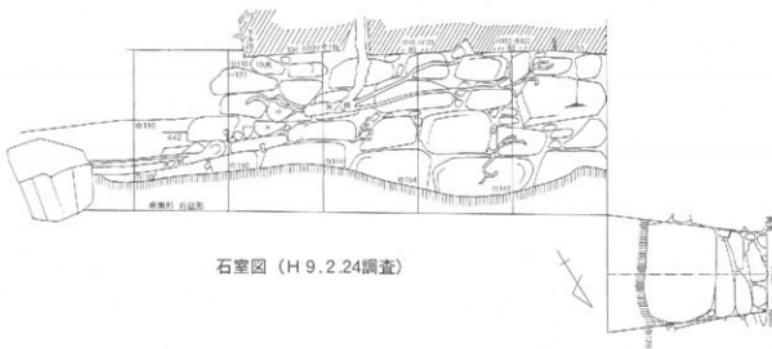
墳丘図 (H 9.2.24調査)



開口部



奥壁



石室図 (H 9.2.24調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径13×10m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長5.5m 幅1.28m 高1.6m

備考

舞崎周辺

22

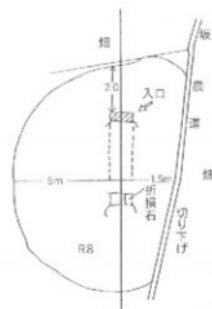
23

24



1/5000

鹿木古墳 (OAU63)

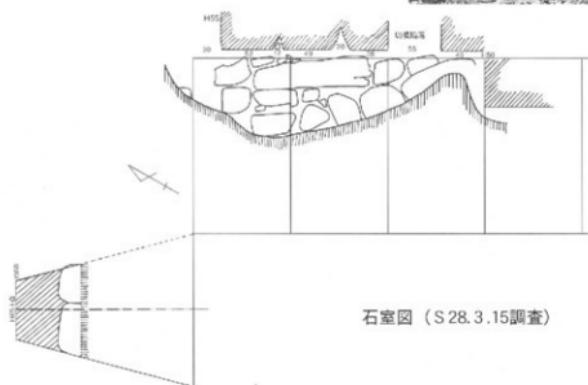


墳丘図 (S 28.3.15調査)



墳丘 (南より)

奥壁側開口部 (北より)



石室図 (S 28.3.15調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径8m 高2.3m

埋葬部形態 横穴式石室

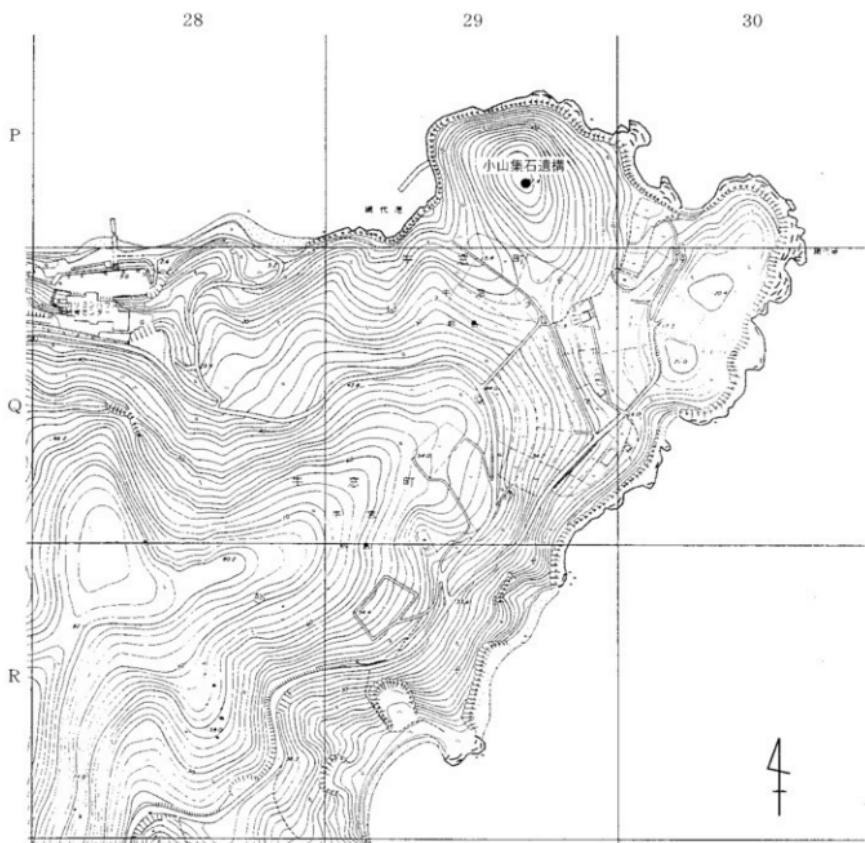
埋葬部規模 長5m 幅0.6m 高0.7m

備考 この古墳の南西約30mの畠南面に古墳があ

ったと伝えられる。今は開墾により削平さ

れている。

前島東部



1/5000

前島小山集石遺構



遺構略図（H 13. 2. 15若松）



小山遠景



中央集石部（南東より）



遺構斜面（南より）

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径12×10m 高1.8m

埋葬部形態 集石土壙

埋葬部規模 長1.2m 幅0.7m 高0.5m

備考 この集石遺構は地元では積石塚と呼ばれ、今回掲載した。遺構の北西部は露岩により端部を持たないが他所は明確な端部を残し円形を呈する。遺構頂部には中央に土壙を持つ集石があり、端部にも石材が数多く見られる。南側斜面部には比較的多くの石材が見られ、遺構全体に濃淡を持ちながら石材が見られる。また、この北側約10mのところには江戸時代のものと思われる同様の石材を利用したろし台があり、地元では遺構の石材を転用したとも云われる。

前島中央部

21

22

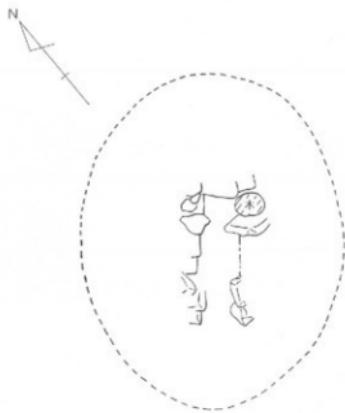
23



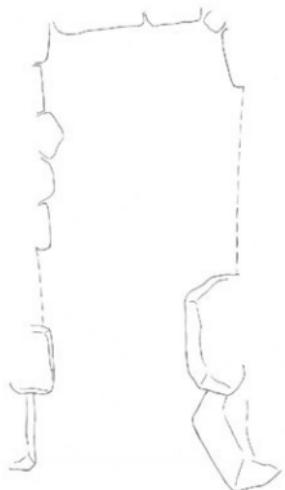
1/5000

4

尾台古墳



墳丘略図（H13.2.15若松）



石室床面略図（H13.2.15若松）



墳丘（西より）



開口部



石室（奥壁、北側壁を見る）

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径9.6×6.8m 高1.4m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長2.8m 幅1.2m 高1m

備考

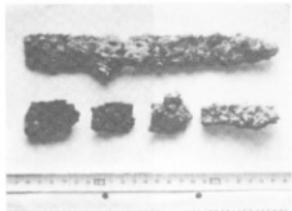
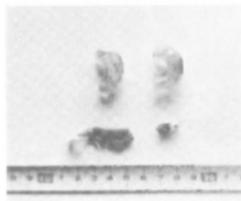
立石古墳（消滅）

字立石の南へ伸びる丘陵上、南側の建物により岩盤が露出している場所に位置する。現在は跡地に備前正義神社が奉られている。

地元古老人によると、昭和8年時にはすでに開墾のため削平されており、削平時に出土した勾玉と刀が残っていただけであった。玉類と刀は現在も前島の個人に伝わっている。



古墳跡地



立石古墳出土と伝えられる玉類と刀
(「島のあかり」1991 牛窓研修センターカリヨンハウスより)

清水池古墳（消滅）

清水池の東側にある。北東へ伸びる丘陵上、字清水池に位置する。現在は跡地に備前正高社神が奉られている。

地元古老人によると、大きな丸い塚があり、昭和8年に畑地開墾のため削平された。削平時は地元の郷土史家刈屋栄昌氏と倉敷の考古博物館（館の名称は不明）の人、地元古老人（当時13歳）が立会い発見された。発掘により石で四角に囲まれた石室が現れた。石室内はきれいに粘土が敷かれ、白骨が横たわり、数珠の様な玉類があった。白骨はきれいに歯が残り、考古博物館の人の話によると推定60歳であった。



古墳跡地

黒島

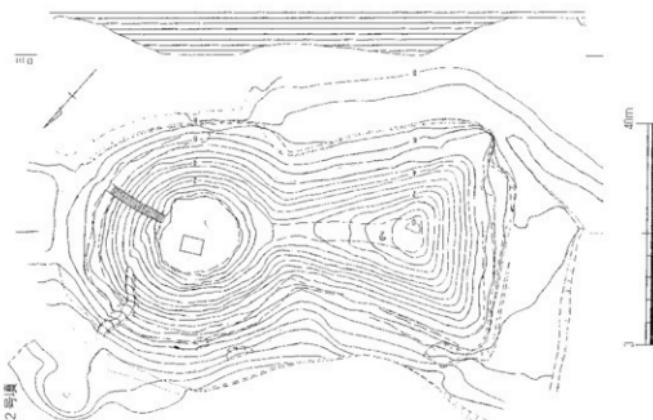
17

18

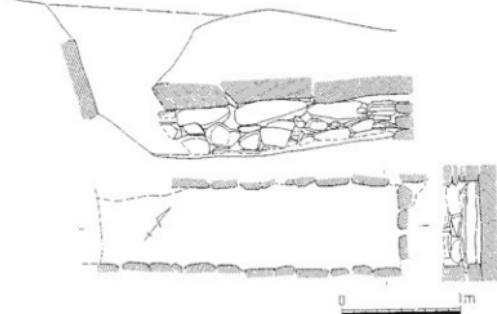


1/5000

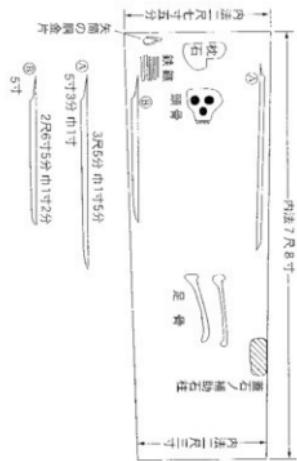
黒島 1号墳 (OAU65)



墳丘図 (『古代吉備一四』より)



1号墳 前方部図 (『古代吉備一四』より)



1号墳 後内部 東側箱式石棺

備考 『岡山県史一八考古資料』「黒島古墳」

近藤嘉郎 1986、『古代吉備一四』

『岡山県吉井川流域における古墳の
展開 (上)』弘山和司、古市秀治、

森宏之 1992、『牛窓町史資料編II』

「黒島古墳」龜田修一 1997 参照

墳丘形態 前方後円墳

墳丘規模 長81m(後円部径48m、高8m、前方部長36m、幅48m、高7m)

埋葬部形態 後円部不明 前方部竪穴式石室

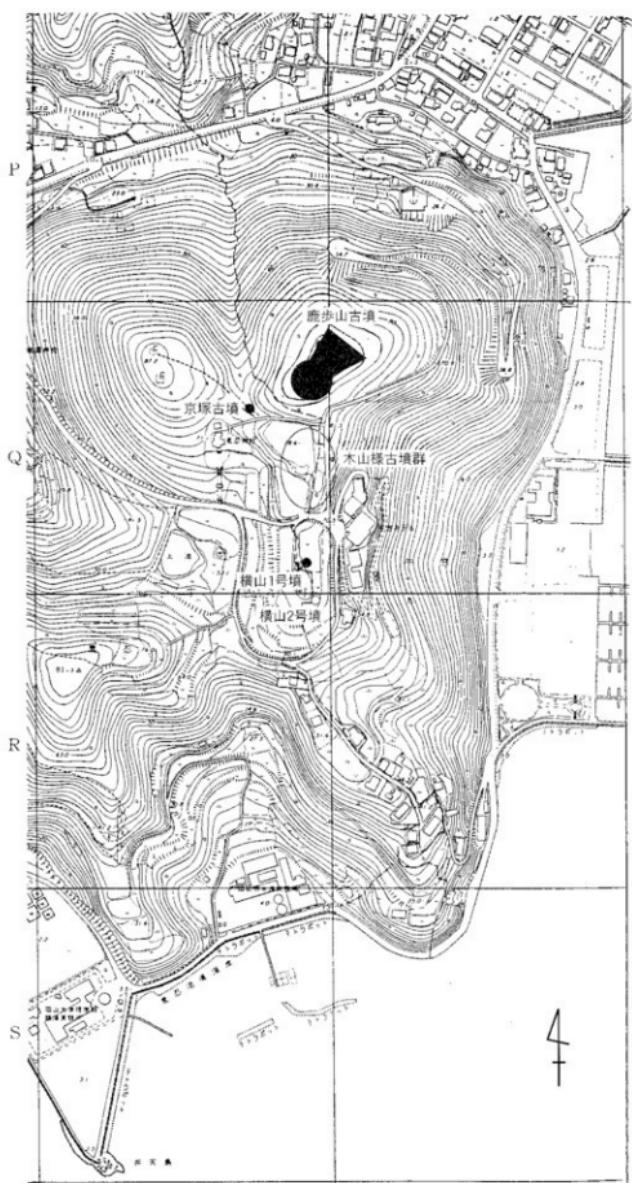
埋葬部規模 後円部不明 前方部長2.4m、幅0.65m、高0.4m

鹿忍地区

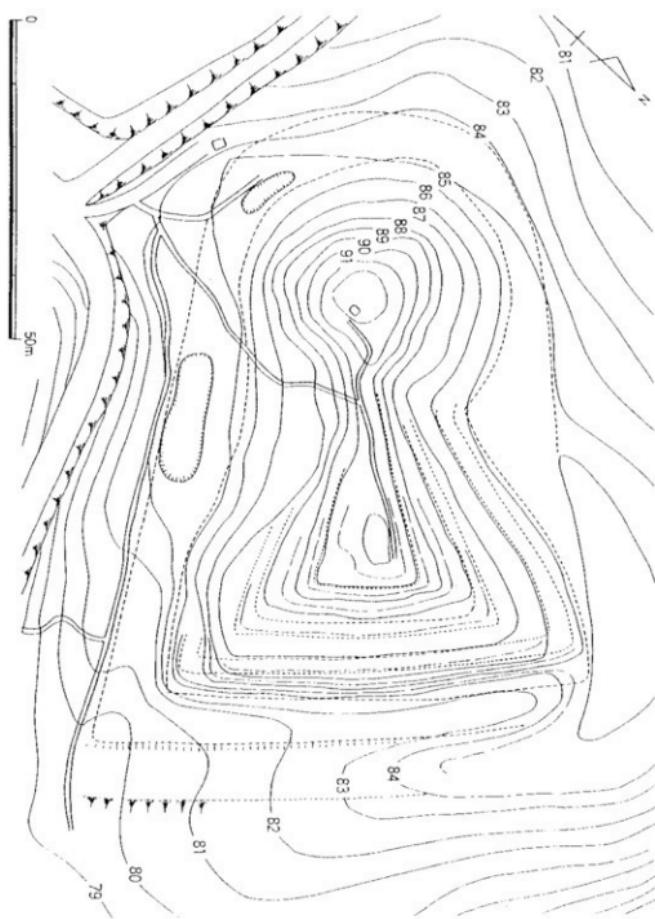
鹿歩山周辺部

12

13



鹿歩山古墳 (OAK15)



墳丘図（「岡山県史一八考古資料」より）

墳丘形態 前方後円墳

備考 『岡山県史一八考古資料』「鹿歩山古

墳丘規模 長84m(後円部径41m、高7m、前方部長45m、幅64m、高7m)

墳 墓 『近藤義郎 1986、『牛窓町史資

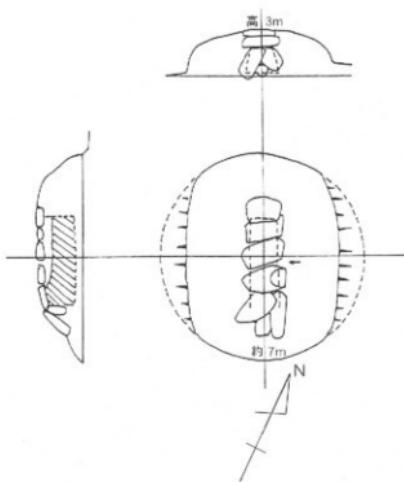
埋葬部形態 不明

料編Ⅱ』「鹿歩山古墳」亀田修一

埋葬部規模 不明

1997 参照

横山 1号墳 (OAK 14)



墳丘図 (H 9.3.2 調査)



墳丘 (北より)

墳丘形態 円形

墳丘規模 径7m 高3m

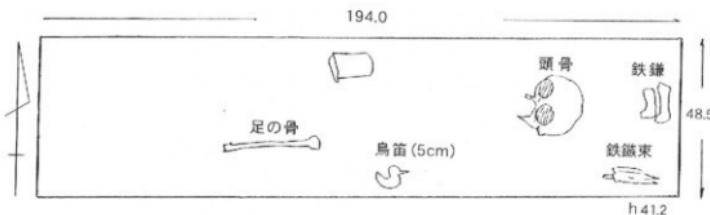
埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長4m 幅1m 高0.6m

備考 石室は開口部が埋土のため入れず、天井石

の隙間からわずかに内部が覗ける。

横山2号墳



埋葬部図 (S 31発掘時)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 不明

埋葬部形態 不明 (横穴式と記載あるが疑問が残る)

埋葬部規模 不明

備考 開墾により消滅。メモによると昭和31年の発掘時、石室下部は畑に埋没しており、蓋石3箇残存、石室の側壁の石の透間は粘土で丁寧に目打が施され、明らかに朱の痕跡が認められた。遺骨は墓地に埋葬。鉄製品、鳥笛は個人が保管と記される。

京塚古墳



墳丘西側残存部 (東より)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径16m

埋葬部形態 不明 (竪穴式と記載あり)

埋葬部規模 不明

備考 メモにある地元古老人の談によると、明治40年頃発掘し直刀30振を得たり。また、他の地元古老人の談によると、鉄鎌約20本が鏽びて一塊となって出土した。現在、墳丘は電話塔の管理道により中央部が削平され、墳丘が東西にわずかに残るのみである。

木山様古墳群（消滅）

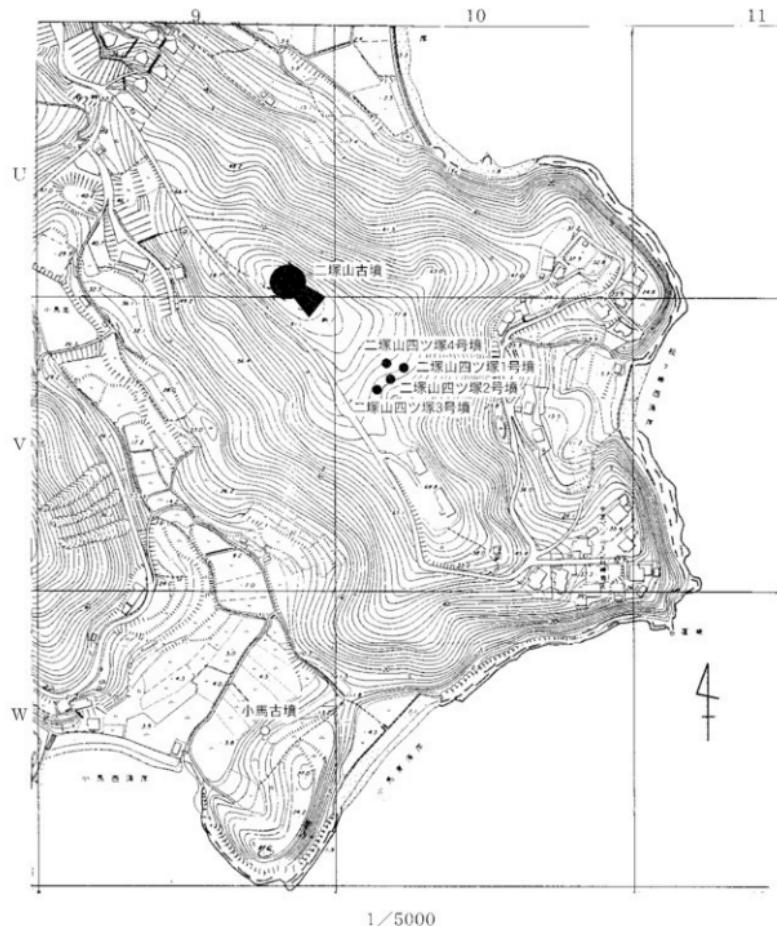
メモによると、鹿歩山古墳の南墳丘裾に木山様なる小社が祀られている。その南はすでに開発されて新地であるが、開発前には小規模な円形の古墳が3基存在していた。古墳は、荒廃久しく、墳丘を失い、蓋石も失っていた。石室は全て南北方向に玄室が造られていた。また、堤瓶二箇採集されたと記される。

(単位:m)

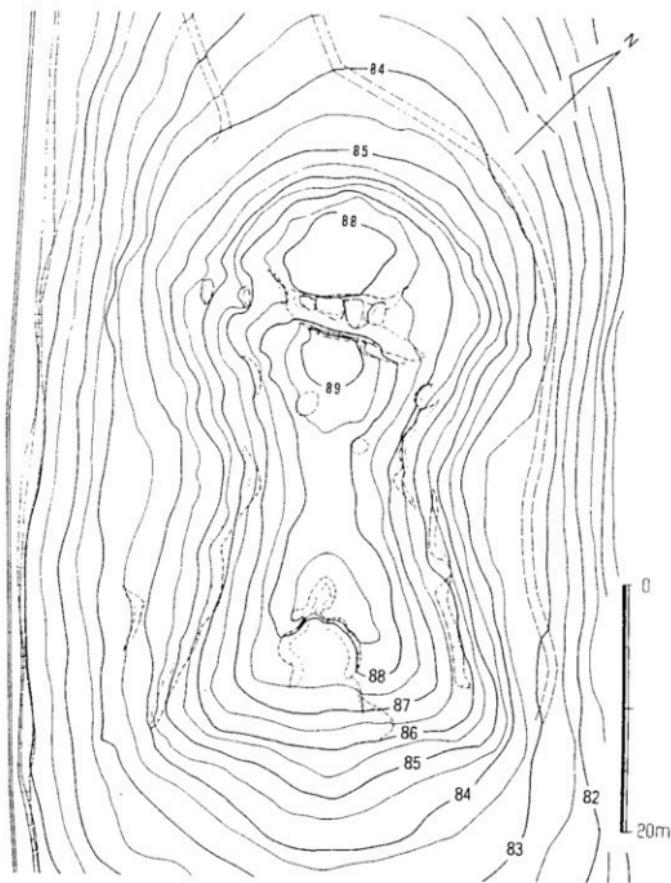
	長	幅	高
1号墳	4.0	1.0	1.2
2号墳	5.0	1.1	1.2
3号墳	5.0	1.3	1.2

石室規模一覧表
(田淵隆吉氏のメモによる)

二塚山周辺部



二塚山古墳 (OAK 1)



墳丘図（「岡山県史一八考古資料」より）

墳丘形態 前方後円墳

備考 『岡山県史一八考古資料』「二塚山古

墳丘規模 長55m(後円部径30m、高5m、前方部長25m、幅30m、高5m)

墳』近藤義郎 1986、『牛窓町史資

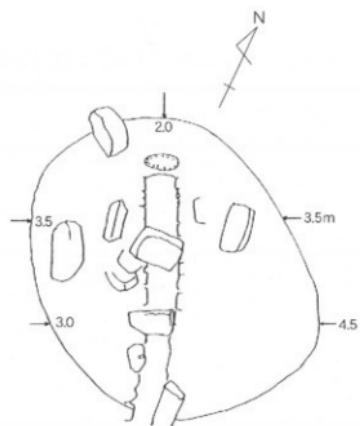
埋葬部形態 横穴式石室 片袖

料編Ⅱ』「二塚山古墳」亀田修一

埋葬部規模 玄室長7m 幅2m 高1.7m

1997 より

二塚山四ツ塚 1号墳 (OAK 10)



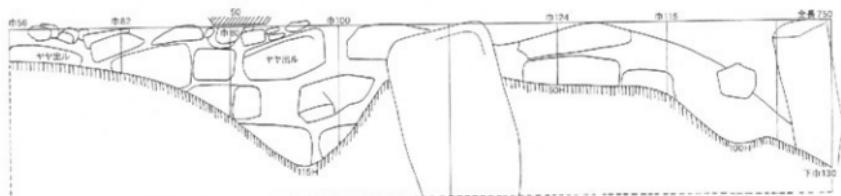
墳丘図 (H 8.3.20調査)



開口部



奥壁と東側壁



東側壁図 (H 8.3.20調査)

墳丘形態 円形

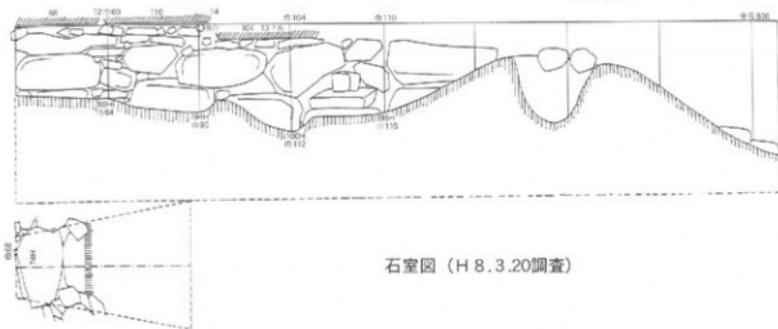
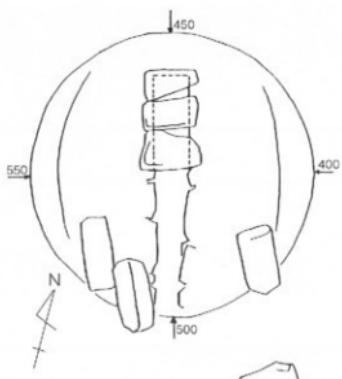
備考

墳丘規模 径10×8m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長7.5m 幅1.2m 高0.6m

二塚山四ツ塚 2号墳 (OAK 11)



墳丘形態 円墳

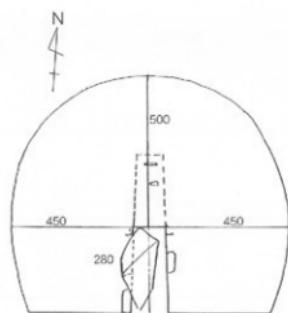
墳丘規模 径9.5m 高1.2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長8.3m 幅0.9m 高0.74m

備考

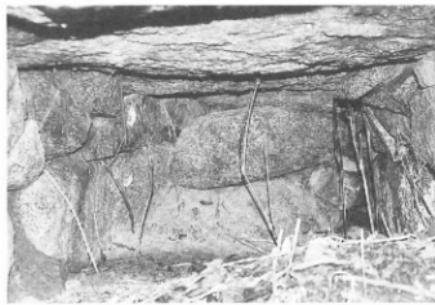
二塚山四ツ塚 3号墳 (OAK 12)



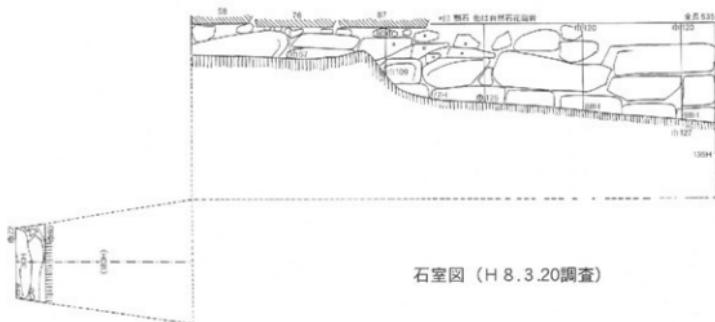
墳丘図 (H 8.3.20調査)



開口部



奥壁



石室図 (H 8.3.20調査)

墳丘形態 円墳

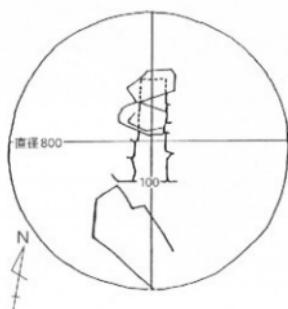
墳丘規模 径9m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長5.35m 幅0.8m 高0.3m

備考

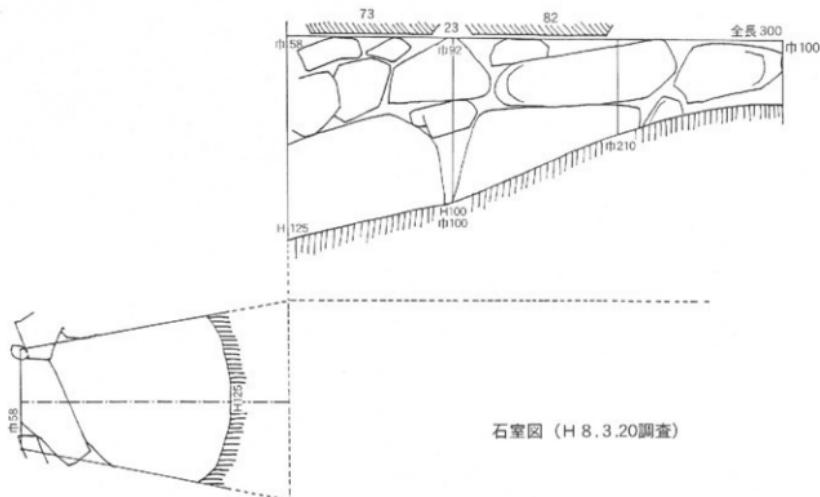
二塚山四ツ塚 4号墳 (OAK 13)



墳丘図 (H 8.3.20調査)



奥壁



石室図 (H 8.3.20調査)

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径8m 高2m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3m 幅1.25m 高1.25m

備考

小馬古墳（消滅カ）

小馬谷が開けて、絶壁サカケノ鼻となって海に臨む丘陵上のところが所在地。

記録によると、昭和6年1月14日コーマ（小馬）の畑岸に古墳を見る。奥幅109cm、口幅165cm、高66cm、長363cmを計測した。

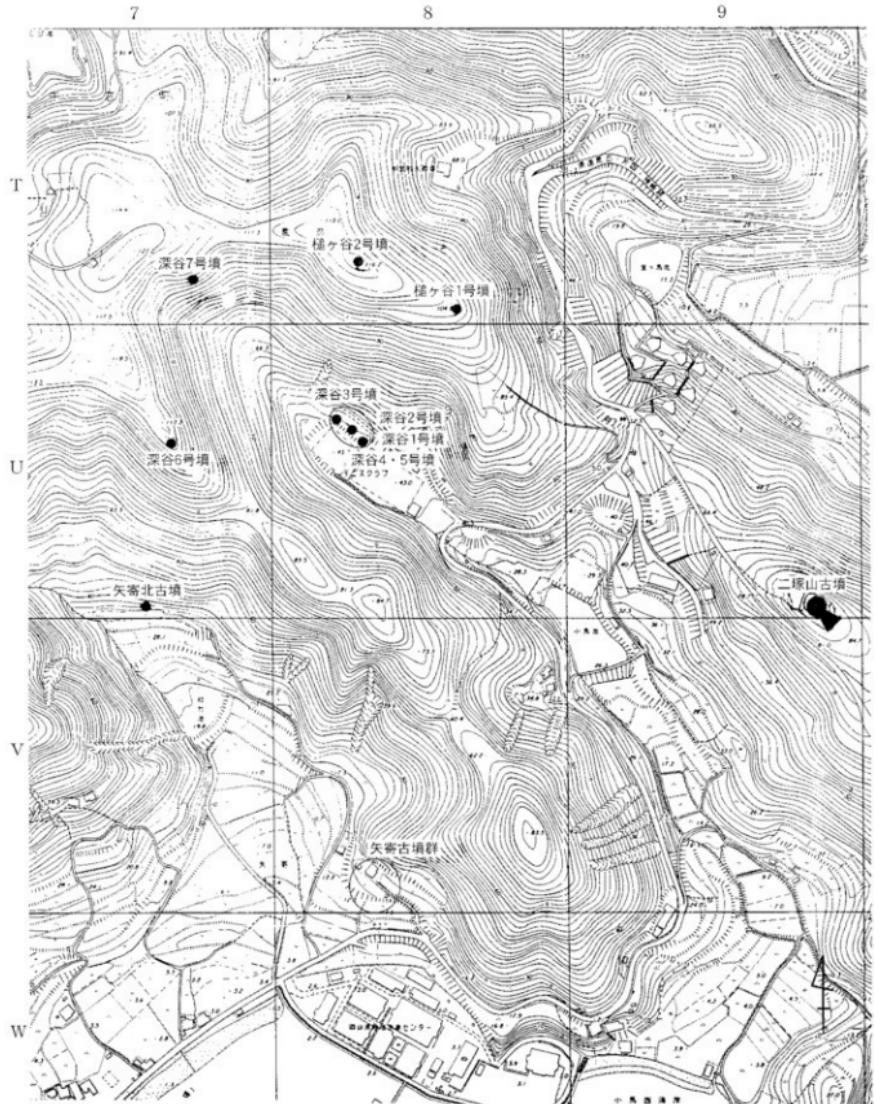
明治初年、開墾に当たり曲（勾）玉・管玉等の出土遺物を海で洗ったところ、海に朱の筋ができたと伝えられる。

また、小馬と言う所に前方後円墳ありしとも伝えられ、「岡山縣通史上編」では陶棺1出土を報告している。



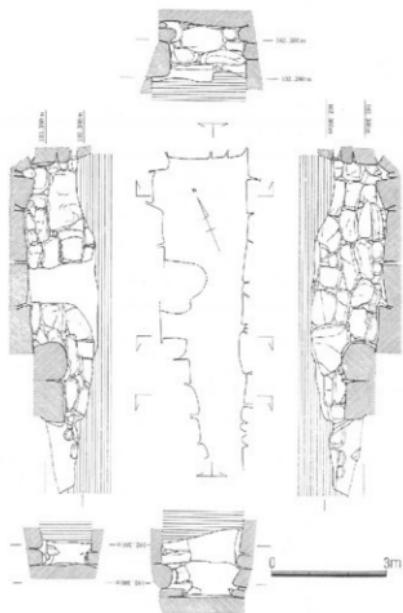
写真中央の丘陵上部に小馬古墳があったと伝えられる

西脇東部



1 / 5000

槌ヶ谷1号墳 (OAK 2)



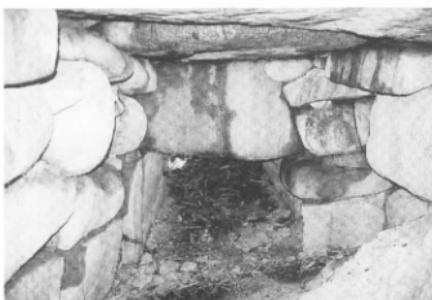
石室図（「牛窓町史資料編Ⅱ」より）



開口部



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径23m 高4m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長8.4m (玄室長4.8m、幅2.2m、高1.8m)

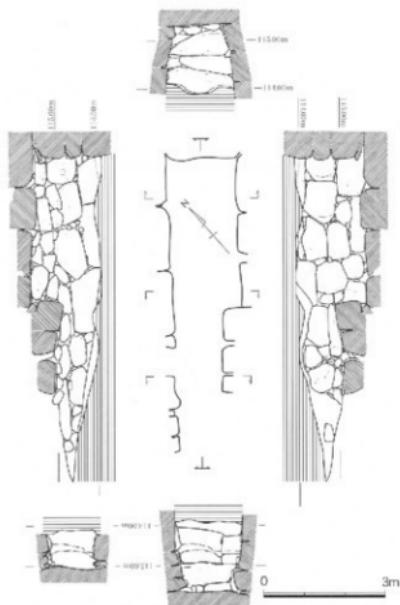
備考 『牛窓町史資料編Ⅱ』「槌ヶ谷一号墳」

龟田修一 1997参照

1号墳、2号墳、どちらからの出土

か不明であるが、装飾須恵器あり。

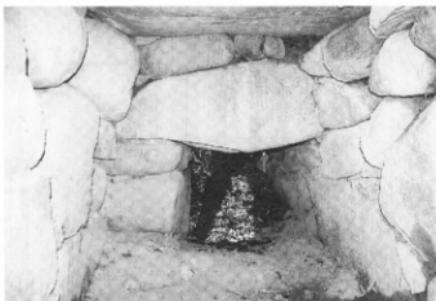
槌ヶ谷 2号墳 (OAK 3)



石室図（「牛窓町史資料編Ⅱ」より）



奥壁



玄門部

墳丘形態 円墳

墳丘規模 径15m 高3.5m

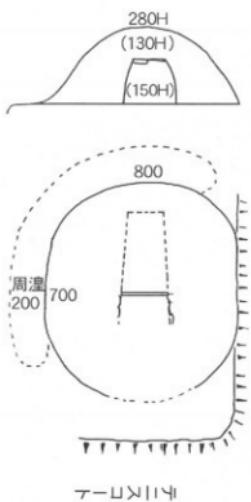
埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長7.28m (玄室長3.68m、幅1.76m、高1.76m)

備考 『牛窓町史資料編Ⅱ』「槌ヶ谷二号墳」

亀田修一 1997参照

深谷 1号墳 (OAK 5) (付 : 4・5号墳)



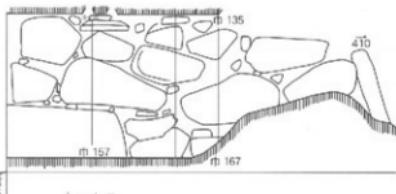
墳丘図 (H 9.3.15調査)



開口部



奥壁



石室図 (H 9.3.15調査)



墳丘形態 円墳

墳丘規模 径7m 高2.8m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長4.1m 幅1.68m 高1.81m

(単位: cm)			
	長	幅	高
1	495	132	138
2	330	330	149
3	330	132	149
4	297	116	132
5	594	132	132

深谷 1～5号墳石室規模メモ
(田淵隆吉氏)

*番号は古墳番号とは一致しない。

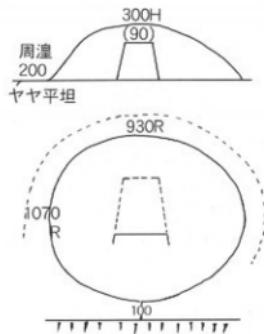
備考 過去には、この斜面に見事な横穴式石室を

持つ円墳5基が並列に所在したらしいが、

現存するのは3基であり、消滅した2基を

便宜上4・5号墳とする。

深谷 2 号墳 (OAK 6)



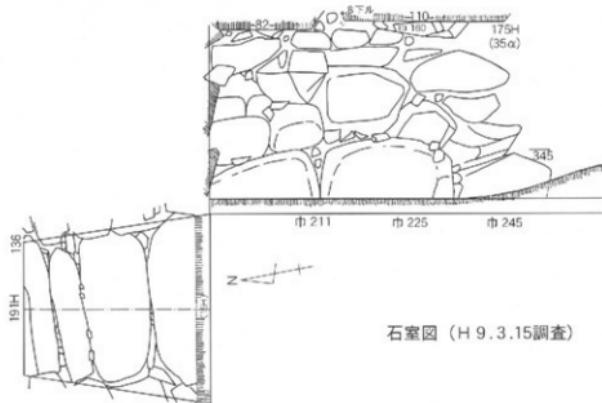
墳丘図 (H 9.3.15調査)



開口部



奥壁



石室図 (H 9.3.15調査)

墳丘形態 円墳

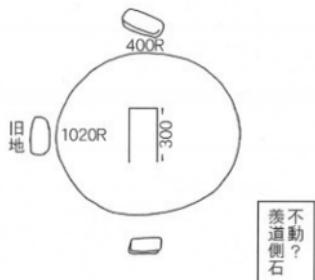
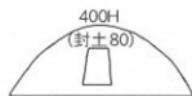
墳丘規模 径10.7×9.3m 高3.0m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長3.45m 幅1.92m 高1.76m

備考

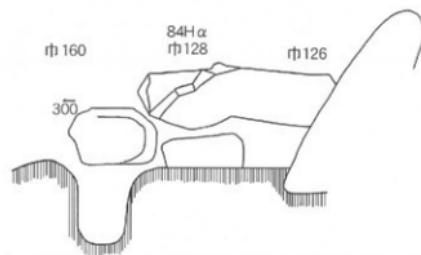
深谷 3 号墳 (OAK 7)



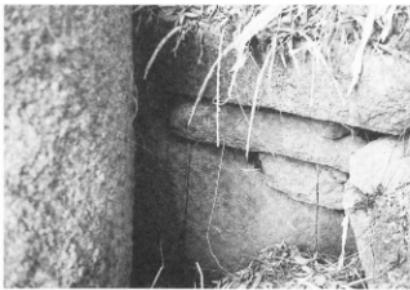
填丘図 (H 9.3.15調査)



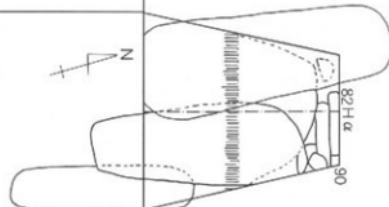
石室



石室図 (H 9.3.15調査)



奥壁



填丘形態 円墳

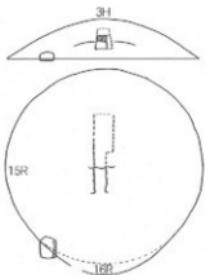
填丘規模 径10.2×9m 高4m

埋葬部形態 横穴式石室

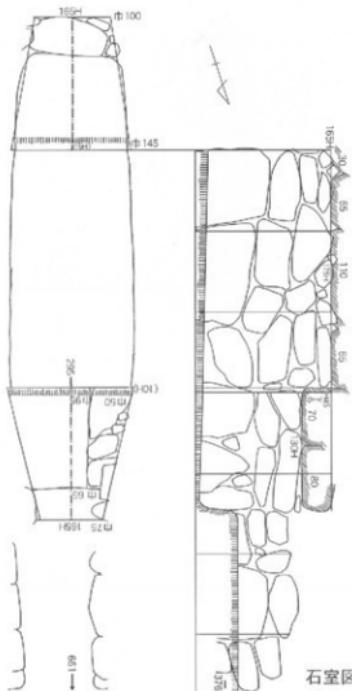
埋葬部規模 長3m 幅1.26m 高0.82m

備考

深谷 6 号墳 (OAK 4)



墳丘図 (H 9.3.15調査)



石室図 (H 9.3.15調査)

墳丘形態 円墳

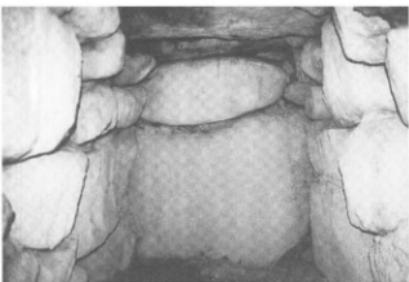
墳丘規模 径15m 高3m

埋葬部形態 横穴式石室 片袖

埋葬部規模 長6.7m 幅1.45m 高1.5m



開口部



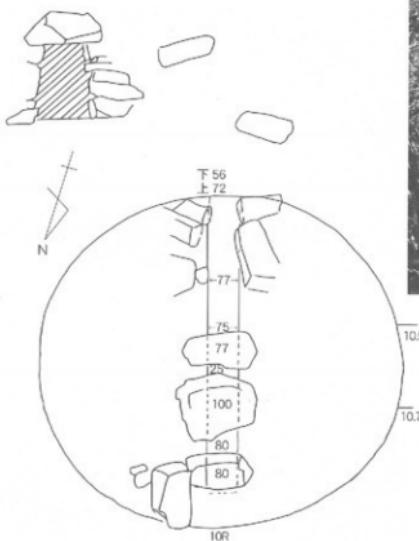
奥壁



玄門部

備考

深谷7号墳 (OAK 8)



墳丘図 (H 9.3.15調査)



墳丘 (東より)



墳丘 (北より)



開口部

墳丘形態 円墳

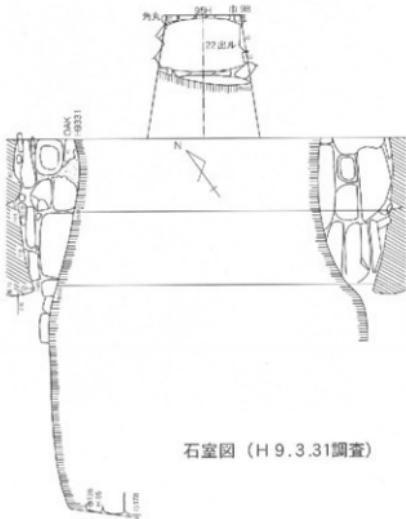
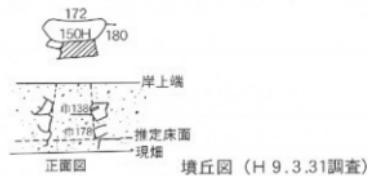
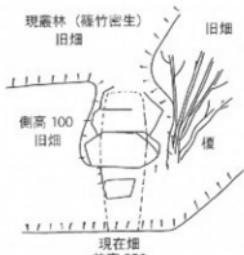
備考 石室内は埋土のため調査不能

墳丘規模 径10.7m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 不明

矢寄北古墳 (OAK 9)

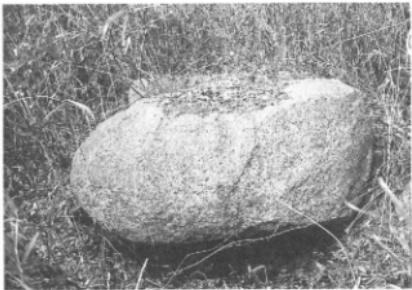


墳丘形態 円墳

墳丘規模 径10m 高2.5m

埋葬部形態 横穴式石室

埋葬部規模 長5.2m 幅1.25m 高0.95m



備考

矢寄古墳群（消滅）

矢寄浜（西脇海水浴場）の東側に突出した丘陵から西に舌状に延びた斜面が所在地

記録によると、小型の横穴式石室を持つ古墳が2基もしくは3基開口していたが、平成前後に岡山県栽培漁業センターの用地が海を埋め立てて造成されたときに、土砂の採取場となって消滅した。



古墳があった丘陵部は採土のため削平され現在は宅地となっている

千手山弘法寺周辺



1/10000

惣ヶ塚古墳群（消滅）

千手の丘陵から鹿忍湾へ突出した、展望の良いところが所在地。

小規模ながら9基、あるいは11基の横穴式石室を持つ円墳があったと伝えられる。昭和20年代には少なくとも3基は確認したと記録にあり、昭和62年には古墳が1基あると報告がある（「岡山県埋蔵文化財報告18」1988岡山県教育委員会）。

しかし、今は1基も確認できない。

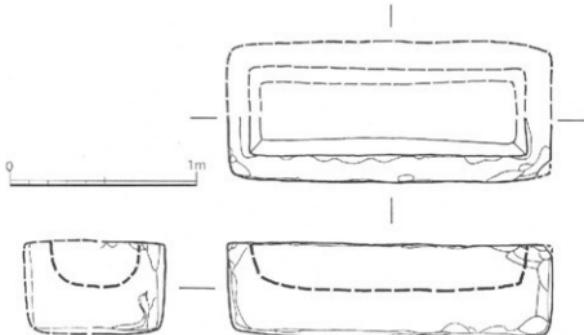


古墳があったとされる周辺

大塚古墳（消滅）

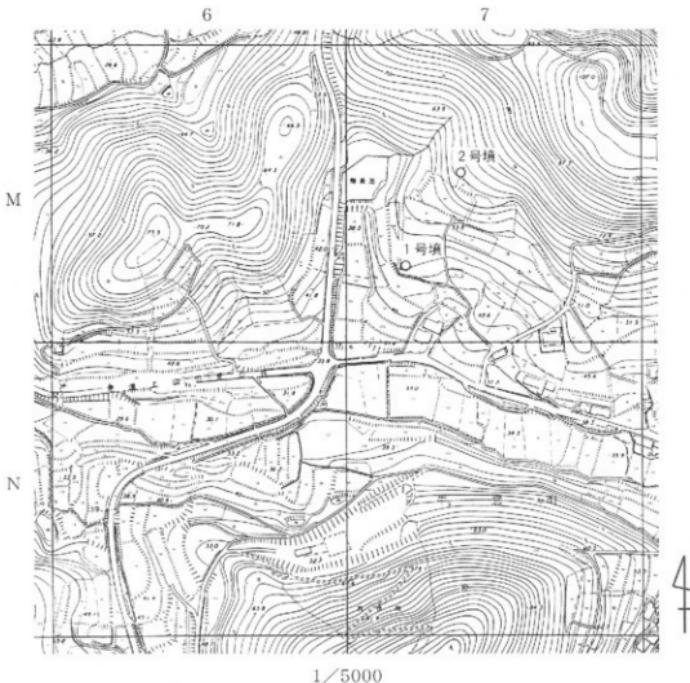
千手大池の北。県道を隔てた急峻な山麓にわずか一枚並びの畑がある。そこは岡山市と牛窓町の境であり、牛窓町分の畑が大塚古墳跡と伝えられる。しかし、或人はもう少し東へ寄った報恩山への登山道の西辺りとも伝える。しかし、何にしても大塚古墳は大池築造の際、石材の利用のため破壊されたと伝えられる。

現在、東寿院の書院縁側に大塚古墳出土と伝えられる石棺（身）がある。



石棺実測図（「牛窓町史通史編」より）

勝負谷周辺



勝負谷 1号墳・2号墳（消滅）

両古墳とも開墾のため削平されている。

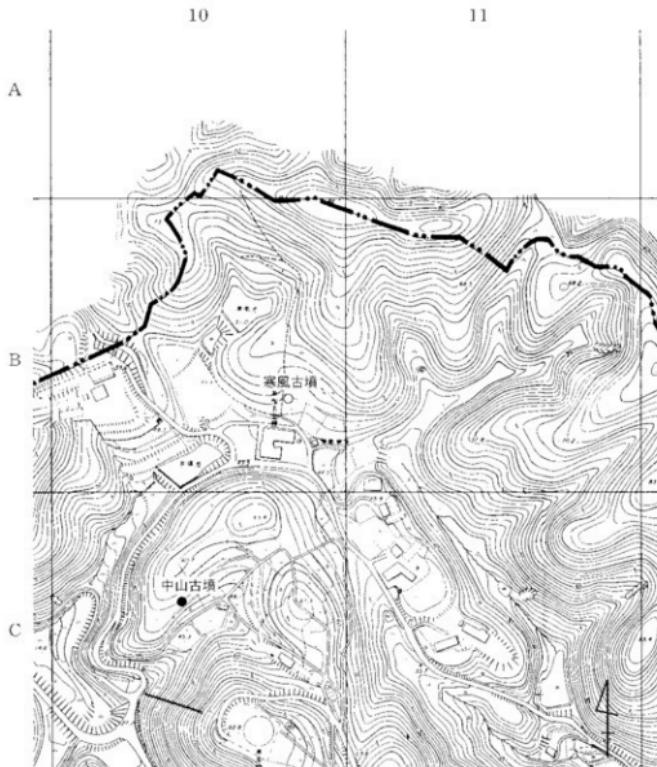
地元古老の話によると、塚（円墳）があり、刀の束が見つかったと聞く。周辺の畑を耕作していると須恵器（堤瓶など）が出てきたこともある。



遠景

長浜地区

寒風周辺



1/5000

寒風古墳

寒風2号窓から西へ約20mのところが所在地。

記録によると、昭和10年2月10日発見された。石室床に須恵器片を敷き詰め、陶棺を置き、陶棺の各脚下に須恵器片を余分に1枚ずつ敷く。陶棺は2つに分かれたらしい、別々の個人がそれぞれを持ち帰ったとある。後には台付長頸壺の完形品も出土したとある。石室は横穴式石室。



石室部分図

中山古墳

寒風古窓跡群から谷を隔てた南の丘陵の南斜面が所在地。

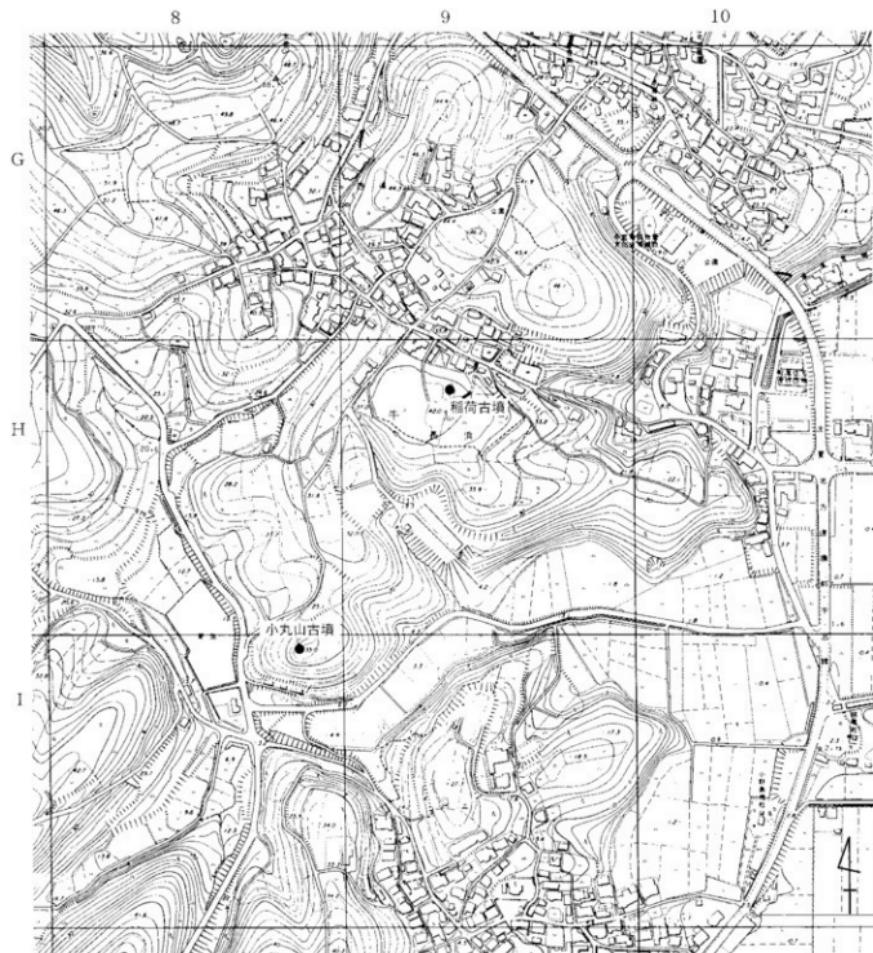
陶棺、高台付小挽出土と伝えられる。記録によると、昭和10年には蓋台がすでに無く、奥壁の上幅80cm、高60cm、入口(開口部分)113cm、左側壁長400cm、右側壁300cm、方向N 6 W(おそらく開口方向はS 6 E)。前半側壁は復元し、屋根を作り野小屋として農具等を保管していたとある。

現在は、石室内が開墾時に出た石により充填されている。



墳丘（北東より）

長浜西浦周辺



1/5000

小丸山古墳

錦海湾を東に望む、小字北田の西の丘頂部に所在する。

記録によると、昔は全面開墾されており、夏大豆が作られていた。しかし、一部分の大豆が枯れたので掘ることにした。

明治の初年に掘られた時は、石室内は朱色にして、偉大な白骨が仰臥し、鏡・兜・直刀があったが、取り上げずに埋め戻された。しかし、昭和40年頃より雨夜が明けた朝、古墳に生えていた松が倒れているのを見て不思議に思い駆けつけると、何者かに掘られたことがわかった。石室は朱色であったが、白骨・鏡・兜は搅乱のためか無かった。その後、頂上に流行神（小丸山様）が祀られたとある。

現在は、墳丘の形らしく円形の高まりが残るが、石室は確認できず。頂部には流行神を祀った社の残骸が残る。



墳丘遠景（北より　写真中央の丘頂部）

稻荷古墳

錦海湾が深く入る北西部の谷を西に上った丘頂部が所在地。

地元の古老によると、松（すでに枯れてない）の根元に1疊ぐらいの蓋石があった。今は、道の下に埋められており、掘ればそのままの形ででてくると言われる。



墳丘

長浜北部



1/10000

北の代古墳（消滅）

栗利郷大神社北側の尾根上部が所在地。

地元の古老によると、長6m、幅0.8m、高1mの石室を持ち、石室の床面は基石（玉砂利）を敷いて、中央に須恵器の高壺が1個あったと言われる。

上屋敷古墳（消滅）

栗利郷区の北西の小丘陵上部が所在地。

記録によると、横穴式石室を持つ円墳であり、石室規模は長5.4m、高0.9m、幅0.9m、東に開口していたある。

また、言い伝えによると、江戸時代末に掘られ、鎧・兜・直刀が出土したとある。

岡の辻古墳群（消滅）

栗利郷区の東の小丘陵上部が所在地。

地元の古老によると、横穴式石室を持つ円墳が1基あり、石室を持たない円墳が3基あったと言われる。

シクの山古墳群（消滅）

栗利郷区の南西の小丘陵上が所在地。

地元の古老によると、横穴式石室を持つ円墳が1基、竪穴式石室を持つ古墳が4基あった。横穴式石室は、長4m、幅1.3m、高1.7mであり、石室内には完全なる大男の白骨が仰臥していた。竪穴式石室の一つは、長2m、幅0.5m、高0.5mであり、石室内は朱色であり、床には基石（玉砂利）を敷き、その上に木炭を敷き、さらに上に白骨があった。白骨の側に楕があり、楕は長30 cm、断面三角形、柄が袋形になっていたと言われる。他の竪穴式石室も同様であったと言われる。

山越古墳群（消滅）

旧赤松塙田の北の丘陵上が所在地。

記録によると、3基存在し、いずれも箱式石棺（竪穴式石室）であり、昭和8年頃に全て石材が撤去されたとある。

田淵古墳群（消滅）

現在、町立牛窓北小学校があるところが所在地。

記録によると、明治34年に校舎建築に伴い数基の小古墳が削平され、須恵器が数点出土した。また、昭和初年に運動場の造成に伴い数基の古墳が削平され、須恵器が数点出土したとあり、横穴式石室を持つものと持たないものがあったとある。

古市村古墳群（消滅）

古市村池北側尾根の開墾地が所在地。

記録によると、2基（3基とも言われる）の横穴式石室を持つ円墳がある。1基は昭和の初年に開墾により削平されたが、他方は墳丘が径10mあり、石室から須恵器が出土したとある。しかし、現在は確認できず。

松廻古墳（消滅）

小字小津坂、小字長谷口の北の畠が所在地。

記録によると、昭和4年頃に地元の個人が発掘し、長さ2.3mの完全な陶棺が出土した。陶棺の妻には麻布の大波文があり、身は前後二つに別れ、3列6本合計18木の円筒の脚を持っていた。その他に鉄片や管玉が出土したとある。

牛窓町古墳図

平成14年3月29日発行

編集 牛窓町教育委員会

発行 牛窓町

〒701-4392

岡山県邑久郡牛窓町牛窓4911

印刷 石井印刷有限会社

〒701-4302

岡山県邑久郡牛窓町牛窓3888-1

